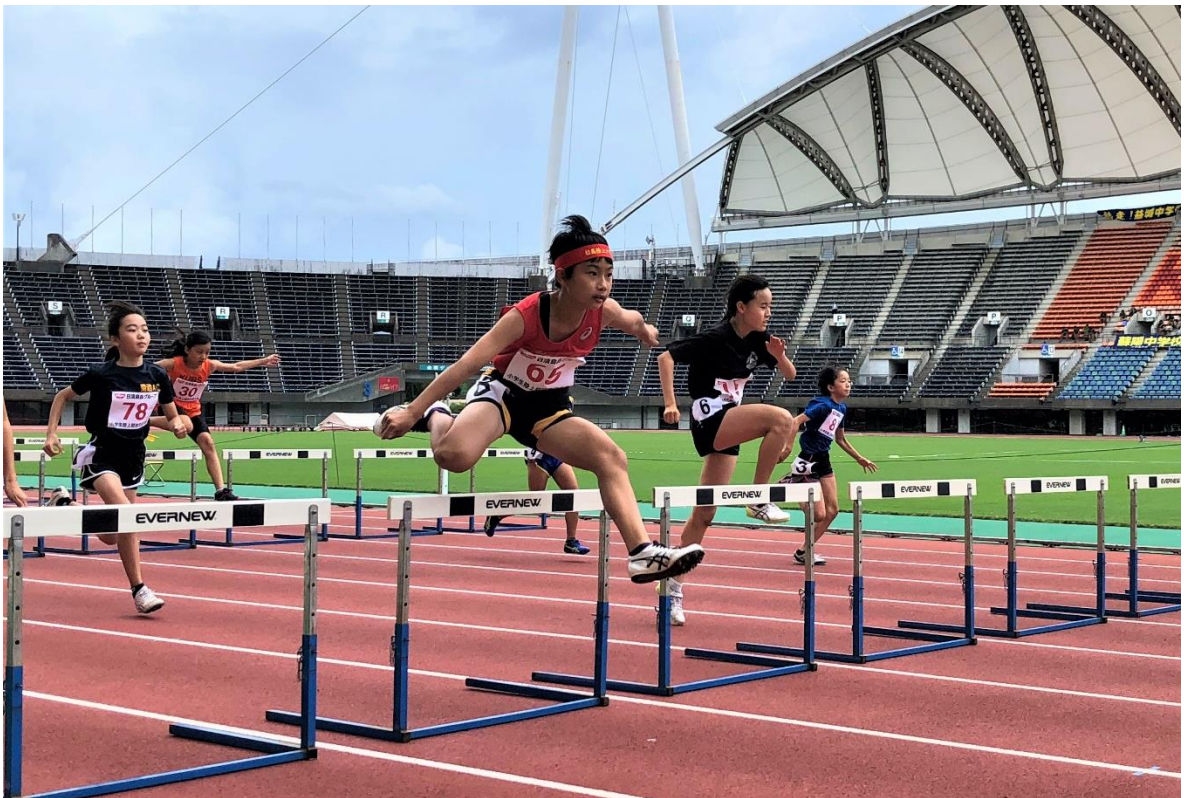


# 2020

## 全国普及育成・指導者養成担当者会議

### <会議後資料>



会議開催日:2020年12月11日(金) 16:00-

日本陸上競技連盟 指導者養成委員会



**LIVE ATHLETIC**

よりアスレティックでいよう  
ライブのアスレティックを体験しよう

2020年度 全国普及育成・指導者養成担当者会議

議 題

2020年12月11日(金) 16:00～18:30  
WEB会議(Zoom) \*15:30～Zoom接続可  
進行：日本陸連 強化部 指導者養成課

- |  |           |       |
|--|-----------|-------|
| 1. 日本陸連より  | 日本陸連専務理事  | 尾縣 貢  |
| 2. 指導者養成に関して   | 指導者養成委員長  | 山本 浩  |
| 3. 指導者養成指針および指導者資格に関して   | 副委員長      | 沼澤 秀雄 |
| (1) 指導者養成指針 [資料 1]<br>(2) 日本陸連公認指導者資格制度 [資料 2・3]<br>(3) 都道府県指導者養成担当者について |           |       |
| * 質疑応答・意見・提案 (指導者養成指針に関して)   |           |       |
| 4. 委員会事業関連 (2020年度事業報告および2021年度事業計画)                                     |           |       |
| 4-1 指導者資格および資格者養成講習会   |           |       |
| (1) JAAF 公認コーチ(JSP0 公認陸上コーチ 3)養成講習会 [資料 4・5]                             | 委員会ディレクター | 桜井智野風 |
| 2020年度実施状況   |           |       |
| 2021年度実施計画および都道府県からの受講者推薦  |           |       |
| (2) JAAF ジュニアコーチ (同 コーチ 1) 養成講習会 [資料 6・7]                                | 委員会ディレクター | 桜井智野風 |
| 2021年度の実施計画  |           |       |
| (3) コーチングクリニック [資料 8]  | 委員会       | 秋元 恵美 |
| 2020年度実施状況および今後について  |           |       |
| (4) 指導者講習会および普及事業 [資料 9]   | 普及ディレクター  | 岸 政智  |
| U10/U13/U16 指導者講習会兼みんな集まれ!!陸上遊び/陸上運動/陸上の基本運動                             |           |       |
| (5) 全国指導者養成担当者研修会  | 副委員長      | 沼澤 秀雄 |
| (6) 資格更新研修について [資料 10・11]  | 事務局       |       |
| 4-2 小学生関連  |           |       |
| (1) “日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流大会 [資料 12・13]                                    | 普及ディレクター  | 岸 政智  |
| 2020年都道府県大会報告  |           |       |
| 2021年(第37回)大会について  |           |       |
| (2) 小学生登録(調査結果) [資料 14]  | 普及ディレクター  | 岸 政智  |
| * 質疑応答・意見・提案 (小学生関連)   |           |       |
| 5. 来年度実施希望調査 その他連絡 [資料 15]   | 事務局       |       |
| 6. 質疑応答 (全体を通して)   |           |       |
| 7. 都道府県陸協における指導者養成   | 委員会ディレクター | 桜井智野風 |
| 8. おわりに  | 委員長       | 山本 浩  |

## 【資料】

《更新》と記載の資料は 全国会議後に 更新・差替えをしています

- 資料 1 日本陸上競技連盟 指導者養成指針
- 資料 2 JAAF 公認スポーツ指導者制度概要
- 資料 3 2020 年度 都道府県別 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者数（陸上競技）
- 資料 4 《更新》 2021 年度日本スポーツ協会公認コーチ 3 養成講習会（陸上競技）開催要項
- 資料 5 《更新》 2021 年度 JAAF 公認コーチ（JSP0 公認陸上競技コーチ 3）受講者推薦について（お願い）
- 資料 6 2021 年度 JAAF 公認ジュニアコーチ（JSP0 公認陸上競技コーチ 1）養成講習会開催要項
- 資料 7 JAAF 公認ジュニアコーチ（JSP0 公認陸上競技コーチ 1）資格取得までの流れ
- 資料 8 第 27 回（2020 年度）JAAF コーチングクリニック開催要項
- 資料 9 《更新》 2021 年度 JAAF U10/U13/U16 指導者講習会兼みんな集まれ!!陸上運動 開催要項
- 資料 10 各都道府県における更新研修の実施について
- 資料 11 JSP0 公認指導者管理システム管理者登録状況、管理者 I D 申請書
- 資料 12 2020 年度 “日清食品カップ” 都道府県小学生陸上競技交流大会 開催一覧
- 資料 13 《更新》 2021 年度 “日清食品カップ” 第 37 回全国小学生陸上競技交流大会 開催要項(案)
- 資料 14 小学生登録に関する調査結果
- 資料 15 2021 年度日本陸連指導者養成委員会事業開催可否について（ご検討のお願い）
- 資料 16 普及事業開催実績
- 資料 17 (参考)2019 年全国普及育成担当者会議〈都道府県陸協における指導者養成に関して〉
- 資料 18 事故を防ぐ 3 つのポイント
- 資料 19 《更新》 出席者一覧

日本陸上競技連盟 指導者養成指針  
策定について

2020年11月、日本陸連では、陸上競技の指導はいかにあるべきか、指導者はどのように育てられるのか、といった道筋をまとめた「指導者養成指針」を策定しました。今後、この指針に基づき、指導者資格制度の充実や、指導者の資質向上につながるさまざまな取り組みを進めてまいります。

本連盟は2018年に策定した「競技者育成指針」の中で、「一人でも多くの方が陸上競技を楽しみ、極め、また少しでも長く続け、そして関わることを望まれる」と記しました。そのような人を増やすためには、指導者の人数を増やし、質も向上させることが欠かせません。陸上競技を指導しておられる方、これから指導に携わろうと考えている方には、ぜひ読んでいただきたいと思います。

# 日本陸上競技連盟 指導者養成指針

2020年11月  
指導者養成委員会

## 指針策定の背景

日本陸上競技連盟（以下「本連盟」という）が発行した『JAAF VISION 2017』では、陸上競技の価値に関して詳細な説明を試みている。それによれば、陸上競技は、「さまざまなスポーツの基礎となる」要素で満たされ、「場所やレベルに関わらず、する人、みる人を感動させる」力を持ち、「人々のライフスタイルをアクティブにする」とされる。私たちが共有するこの価値をさらに高め、上げていくために、本連盟は、トップアスリートの活躍で国民に夢と希望をもたらす「国際競技力の向上」と、すべての人が陸上競技を楽しむ「ウェルネス陸上の実現」というミッションを掲げ、なお具体的な数値目標を設定した。

- 2028年までに世界のトップ8、2040年までに世界のトップ3（アジアのNo. 1）を目指した競技者の育成・強化を推進する。
- アスレティックファミリー（競技会参加者、審判、指導者）を2028年までに150万人、2040年までには300万人に拡大させる。

二つのミッションを通じて表明した数値目標を達成するためには、競技者の育成や強化はもとより、陸上競技に関わるアントラージュ<sup>注1</sup>の拡充が急務である。

2018年に策定された『競技者育成指針』には、「一人でも多くの人々が陸上競技を楽しみ、極め、また少しでも長く続け、そして関わることを望まれる」と謳われているが、その牽引役を務めるのは指導者において他にない。指導者は、競技者の体験・経験のプロセスに、あるときは直接に、またあるときは間接的に関わり、競技継続や関与への動機づけにも大いに影響を及ぼす点で、アントラージュの中でもとりわけ重要な存在である。加えて、「あらゆる年齢区分における質の高いコーチングの提供」や「国際的な競技力向上のための適切な強化施策の実施」などを効果的に推し進めるには、指導者の数を増やしながらその質を更に向上させるための計画的かつ継続的な養成に向けた施策を検討しなければならない。

陸上競技の指導はいかにあるべきか、指導者はどのように育てられるのか。陸上競技に関わる全ての人の理解あって初めて、道は確かなものとなる。万人に向かって指針をここに示すゆえんである。

## 本連盟が養成すべき指導者とは

近年、スポーツの現場では、指導者の重要性がより強く意識されるようになってきている。世界がしのぎを削る国際的な舞台は言うまでもなく、あらゆる世代の人々が、自らの関心や適性等に応じて、日常的にスポーツを楽しむためにも、求められる役割に応じて適切に対応できる優れた指導者の存在が不可欠だと再認識したからである。

社会はどんな指導者を求めているのか。「ライフステージに応じた多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者」を認定する日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者資格認

定方針（ディプロマ・ポリシー）では、スポーツの価値や未来への責任を理解し、スポーツの本質的な意義や価値の伝達を通して、豊かなスポーツ文化の創造や社会的価値の向上に貢献できる資質・能力の獲得を資格認定要件としている。

ひるがえって焦点を私たちのスポーツに絞ってみよう。陸上競技は、走・跳・投という人間の基本的な運動で構成されているため、生涯にわたるあらゆる身体活動（運動・スポーツ）の基盤となる身体リテラシー<sup>注2</sup>を育む上で最適なスポーツだという認識が強い。また、陸上競技の醍醐味は、年齢や競技レベルを問わず、記録という客観的な指標の追求を通して、他者や自分自身との競争を楽しみ、卓越や達成の喜びを得るところにある。

本連盟は、このような陸上競技のもつ特性を踏まえて、以下の資質・能力を身に付けた指導者（コーチ）を養成するためのカリキュラムおよびシステムを構築し、その学びを支援することを目指す。

- ✓ 陸上競技というスポーツおよび競技者の未来への責任を自覚するとともに、陸上競技の本質的な価値や楽しさを伝えることにより、アスレティックファミリーの拡充に貢献する。
- ✓ コーチング理論やスポーツ医・科学の知見を活かし、幼少年期からのスポーツライフステージや競技レベルに応じた適切で質の高い指導（コーチング）を実践する。
- ✓ 競技者の人間的な成長と競技力の向上を多面的に支援するために、アントラージュ間の連携を深めながら、常に学び続ける。
- ✓ 暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、豊かなスポーツ文化の創造や社会的価値の向上に貢献する。

なお、本指針では、これ以降、陸上競技の指導に関わる全ての人（およびその実践）を「指導者（指導・支援）」と呼び、本連盟の指導者養成カリキュラムを修めた資格取得者（およびその実践）を「コーチ（コーチング）」と呼ぶ。

## 指導者を取りまく現状と課題

### ① 陸上競技および競技者の特性を踏まえる

指導者は、全ての運動・スポーツの基礎となる身体リテラシーを育むために、走・跳・投種目の運動特性を理解し、各種目を指導するための幅広い知識・技能を身につけることが求められる。また、陸上競技は、他のスポーツと比べて専門化が遅いという特徴をもつ競技であるが、高校から新たに陸上競技を始める競技者も多くいる一方、中学生登録者の高校進学後の継続率は決して高くない。これらのことから、指導者には、常に競技者一人一人の競技プロセスに寄り添いながら、その年代、性別、競技レベルなどの特性に応じた適切な指導・支援が期待されている。とりわけ発育発達の個人差が大きい幼少年期の子どもを含むジュニア競技者を対象とする場合には、陸上競技の楽しさを伝えることを通じた運動有能感<sup>注3</sup>の涵養などにも十分に配慮したい。

指導者は、陸上競技の走・跳・投種目の指導に関する専門的な知識・技能に加え、競技者の生涯にわたるスポーツキャリアを視野に入れた指導・支援に関連する知識・技能を身につけることが必要である。

## ② 指導者の資質・能力および指導（コーチング）の質

指導者のすべき仕事は、競技パフォーマンスの目標やトレーニング課題の設定にはじまり、トレーニング計画の立案から実施、試合に向けた準備、さらには適切かつ安全なトレーニング環境の整備や競技者を取りまく人間関係の構築など多岐にわたる。そのため、必要な知識・技能をバランスよく身につけることが求められる。また、行き過ぎた勝利至上主義や指導者と競技者との間の勢力構造（上下関係）に基づく倫理的に不適切な言動、非合理的なトレーニング、さらにはドーピングをはじめとする人為的に競技力を高めようとする行為も後を絶たない。こうした行動は、競技者の身体的、精神的および社会的な成長を阻害するだけでなく、ひいてはスポーツの価値を貶めることに直結するものであり、競技横断的に重要とされる知識・技能についての十分な学習機会が設けられていないこともその一因といえる。

指導者は、アスリートセンタードの理念に基づき、コーチング理論やスポーツ医・科学の知見を活かした質の高い指導を行いながら、スポーツのインテグリティ（健全性）の維持・向上に貢献する強い信念が必要である。

## ③ 継続的な学習支援

指導者には、常に新たな課題を発見し、その解決法を導き出すことが求められる。アスリートがより良い結果を求めてトレーニングに工夫を凝らすように、指導者にも最善を求めてやまない日が続くことがある。そんな時には、過去の経験と照らし合わせながらも、最新の情報を入手し、幅広い知見を取り入れるなど臨機応変な対応が求められる。一方で、自身の指導・支援の最適化に向けて学び続けることの重要性を認識しながらも、実際には自らが競技者として経験してきたコーチングの在り方に影響され、新しい知識・技能に向き合えなかった経験はないだろうか。

競技環境の改善や充実にあたっては、競技者（チーム）に関わる全てのアントラージュの連携・協働が欠かせないが、指導者と競技者との関係を基本とする個人およびチームの活動は、外部との接触機会を持ちにくく、内部事情が表面化されにくいため、その関係も独立的で閉鎖的になりがちである。指導の現場で優れたコミュニケーション能力が求められる理由はこんな所にもあるが、コーチ資格を取得した後の学習はコーチ自身の裁量に委ねられており、組織的な学習機会の提供や情報発信などのフォローアップは不十分である。

指導者が、競技者のニーズに応じた適切な指導・支援のための体系的な学習内容および方法の開発や学習機会の充実を図るとともに、より多くの指導者がコーチの養成過程を経るよう、広く促す体制を整えたい。

## コーチ養成システムの再構築に向けて ― 全ての指導者にコーチ資格を―

本連盟は、陸上競技の指導現場に立つすべての指導者がコーチ資格の取得を目指し、資格取得後も継続的に学習できる環境を整備するために、以下の内容を踏まえたコーチ養成システムを再構築する。

### ① 陸上競技と競技者の未来を支援できるコーチの養成

陸上競技および競技者の未来への責任を自覚するとともに、陸上競技の本質的な価値や楽し

さを伝え、アスレティックファミリーの拡充に貢献できるコーチを養成する。

- 『競技者育成指針』に示された育成・強化ステージに応じて、走・跳・投種目のテクニカルモデル<sup>注4</sup>に基づく適切なコーチングを実践する知識・技能を身につけるための体系的なカリキュラム開発や学習機会の充実を図る。
- 学習した知識・技能が現場で活用されるような指導プログラムや安全対策ガイドライン等を提示することにより、学校体育や運動部活動、スポーツクラブでの適切かつ安全な活動を支援する。
- 身体リテラシーを育む上で最適なスポーツという特性を踏まえて、陸上競技以外の様々な競技スポーツのパフォーマンス向上にも寄与できるコーチの養成および活用を推進する。

## ② 競技横断的に求められる資質・能力を有したコーチの養成

コーチング理論やスポーツ医・科学の知見を活かし、幼少年期からのスポーツライフステージや競技レベルに応じた適切で質の高い指導（コーチング）を実践できるコーチを養成する。

- アスリートセンタードの理念に基づき、発育発達の個人差や相対的エネルギー不足（RED-S<sup>注5</sup>）などに配慮した適切なコーチング（トレーニング）を行うために必要な知識・技能を得るための学習機会の充実を図る。
- 一人でも多くの指導者のコーチ資格取得を推進するために、コーチ資格制度の周知や資格取得を奨励する取り組みを実施するとともに、コーチ養成カリキュラムの改善・充実を図る。
- 高度な専門性を有するコーチを養成するために、コーチングやトレーニングに関する最新の研究成果や国際的な動向などを収集し、コーチ養成システムに迅速に取り入れるとともに、コーチ資格の取得者に対しても素早く情報を発信する。
- 新たなコーチ資格の設定および資格取得者の拡充に向けて、都道府県陸上競技協会や大学等の各種教育機関との連携によるコーチ養成講習会を全国展開する。

## ③ 学び続けるためのコーチ養成システムの構築

競技者の人間的な成長と競技力の向上の多面的な支援に向けて、指導者がアントラージュ間の連携を深めながら常に学び続けることのできる環境を整備する。

- リモート学習を含めた各種研修会やクリニックを積極的に開催するなど、コーチ資格取得後の研修制度の充実を図る。
- トップレベルからグラスルーツまでのコーチの人材交流や情報交換の場を設定し、コーチ同士のネットワークの形成、共に学び合えるコーチコミュニティの創出を促進する。
- 国際競技力の向上に係わるコーチの海外研修制度の充実や海外コーチの招聘などを積極的に推進し、国際的にも貢献・活躍できるコーチの学びを支援する。
- コーチの養成に係わるコーチ育成者やクリニックや講習会における講師の養成を進めるなど、コーチ資格取得者を積極的に活用する。

注1：アントラージュ

競技者が競技力を最大限に発揮するための支援や、競技環境の整備などを行う関係者。例えば、指導者、トレーナー、医療スタッフ、科学者、家族、競技団体の役職員、審判員などが含まれる。



注2：身体リテラシー

さまざまな身体活動、リズム活動（ダンス）、スポーツ活動などを、自信をもって行える基礎的な運動スキルおよび基礎的なスポーツスキル。身体リテラシーには、運動を楽しく、有能感（Competence）をもって、意欲的に行えるといった心理的な側面、あるいは仲間と協調したりコミュニケーションしたりできる社会的側面も含まれる。この身体リテラシーが身につくことによって、生涯を通して健康的で活発なライフスタイルを送ることが期待できる。

注3：運動有能感

身体的有能さの認知（自身の能力や技能に対する自信）、統制感（努力をすればできるようになるという自信）、受容感（仲間から受け入れられているという自信）という3因子から構成される有能感。

注4：テクニカルモデル

各種目における基本的な動作および技術的要素を示した動作（指導）モデル

注5：RED-S（Relative Energy Deficiency in Sport）

スポーツ活動中の消費エネルギーに対する摂取エネルギー不足によって生じる心身全般の健康問題に影響する相対的エネルギー不足の概念。相対的エネルギー不足とそれによって生じる骨粗鬆症と無月経を合わせて女性競技者の三主徴と定義されている。

## JAAF 公認スポーツ指導者制度概要

### <制度の概要>

2011 年度に指導者制度を改訂し、2012 年度より下記のように指導者養成を実施している。

従来の 4 資格から、JAAF 公認コーチ、JAAF 公認ジュニアコーチの 2 種類に絞り、指導者を養成している。

### <2011 年以前>

### <現行>

資格名	資格名	
	日本スポーツ協会 (JSP0)	日本陸上競技連盟 (JAAF)
日本体育協会 公認上級陸上競技コーチ	日本スポーツ協会 (JSP0) 公認陸上競技コーチ 4	設定なし ※既存のコーチ 4 所有者：JAAF 公認コーチ
日本体育協会 公認陸上競技コーチ	日本スポーツ協会 (JSP0) 公認陸上競技コーチ 3	JAAF 公認コーチ
日本体育協会 公認上級陸上競技指導員	日本スポーツ協会 (JSP0) 公認陸上競技コーチ 2	設定なし ※コーチ 2 所有者：JAAF 公認ジュニアコーチ
日本体育協会 公認陸上競技指導員	日本スポーツ協会 (JSP0) 公認陸上競技コーチ 1	JAAF 公認ジュニアコーチ

資格名	JAAF 公認ジュニアコーチ (JSP0 公認陸上競技コーチ 1)	JAAF 公認コーチ (JSP0 公認陸上競技コーチ 3)
養成目的	発育発達段階を考慮した競技者育成のための基本指導を行える指導者を養成する。	都道府県レベルの競技者の指導、育成、強化にあたる指導者を養成する。
役割	地域スポーツクラブ（スポーツ少年団を含む）等において陸上競技の基礎的な実技指導にあたる。 小・中・高校生の部活動の指導にあたる。	各地域および都道府県での競技者育成・強化にあたる。
会場数・養成数	15 会場程度/年（20~100 名/1 会場）	1 会場/年（60 名程度/年）
受講条件	受講年度の 4 月 1 日現在満 20 歳以上で、現在陸上競技の指導に携わっている者。もしくは将来陸上競技の指導に携わる希望がある者（学生など）で、日本陸上競技連盟指導者養成委員会が認める者。	受講年度の 4 月 1 日現在満 27 歳以上で、都道府県陸上競技協会、または、日本陸上競技連盟が推薦し、日本陸上競技連盟指導者養成委員会が認める者。 日本陸上競技連盟登録者であること。 ※原則ジュニアコーチ有資格者であること。
時間数(※)	共通科目 集合 14h、自宅学習 21h (スポーツリーダー)	集合 30h、その他 120h、 計 150h (共通 I、II、III)
	専門科目 集合 30h、自宅学習 10h 計 40h	集合 40h、自宅学習 20h 計 60h
受講料 (税込)	共通科目：11,000 円（スポーツリーダー） 専門科目：16,500 円	共通科目：22,000 円 専門科目：16,500 円
登録料(非課税)	初期登録手続き料 3,000 円、登録料 14,000 円/4 年	

\* 共通科目は免除になる可能性がある。

※2020 年度および以後、時間数、講習形態、内容等変更の場合があるため、各講習会実施要項で確認すること。

## ＜大会での資格の義務付け＞全国大会の引率資格について

### ・ 国民体育大会

- ◇ 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認陸上競技コーチ 3、公認陸上競技コーチ 4（以上 JAAF 公認コーチ）、または公認陸上競技コーチ 1、公認陸上競技コーチ 2（以上 JAAF 公認ジュニアコーチ）の資格を有する者とする。なお、監督、選手兼任の場合も同様とする。

### ・ “日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流大会

- ◇ 監督・指導者は都道府県陸上競技協会が推薦する者で、以下の条件を満たしていること。
  - ◇日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 3・コーチ 4（JAAF 公認コーチ）、又は、日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 1・コーチ 2（JAAF 公認ジュニアコーチ）の有資格者
  - ◇監督・指導者のうち必ず 1 名は女性の有資格者
  - ◇申込時、必ず日本スポーツ協会登録番号（7桁の数字）の記載が必要

## 指導者資格有資格者に対する競技会入場特典措置について

### 概要

公認指導者資格（JAAF 公認コーチ、JAAF 公認ジュニアコーチ）有資格者に対して、日本陸連主催競技会への入場特典措置を実施する。

※新型コロナウイルス感染症等の影響により実施できない場合がある。

#### ＜対象者数＞

- 全国で約 5,300 名（2020 年 10 月現在）

#### ＜対象競技会＞

- ゴールデングランプリ陸上
- 日本選手権大会
  - ※日本選手権、日本選手権混成競技、日本選手権リレー、日本選手権長距離、U20 日本選手権
- U18、U16 陸上競技大会

#### ＜対象席種＞

- 設定がある中で最も安価な席種とする

### 入場方法

指定の受付場所に、日本スポーツ協会発行の資格カード本人確認ができる証明書等を提示する。

本人確認の上、入場を可能とする。詳細は受付係員の指示に従うこと。本人以外の使用は認めない。

### ＜日本スポーツ協会発行指導者登録証のサンプル＞



## 2020年度 都道府県別 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者数（陸上競技）

2020年10月現在

都道府県	コーチ1	コーチ2	コーチ3	コーチ4	合計	女性指導者 人数	女性指導者 割合(%)	公認コーチ 女性
	JAAF公認ジュニアコーチ		JAAF公認コーチ					
北海道	120	0	17	7	144	23	16.0	1
青森県	75	1	18	4	98	17	17.3	2
岩手県	69	0	28	7	104	20	19.2	4
宮城県	80	0	10	1	91	15	16.5	1
秋田県	47	0	13	0	60	14	23.3	4
山形県	99	0	20	5	124	28	22.6	2
福島県	126	0	30	3	159	25	15.7	5
茨城県	59	0	31	12	102	11	10.8	0
栃木県	45	0	22	4	71	7	9.9	1
群馬県	89	1	25	3	118	12	10.2	3
埼玉県	197	2	51	12	262	37	14.1	5
千葉県	129	3	46	8	186	22	11.8	2
東京都	328	4	83	22	437	85	19.5	14
神奈川県	182	0	30	9	221	35	15.8	2
新潟県	96	5	28	5	134	15	11.2	1
富山県	97	0	13	1	111	23	20.7	2
石川県	59	1	10	2	72	11	15.3	0
福井県	60	0	20	2	82	10	12.2	3
山梨県	37	11	17	4	69	7	10.1	0
長野県	85	2	38	5	130	20	15.4	3
岐阜県	59	5	16	2	82	18	22.0	2
静岡県	129	5	29	6	169	27	16.0	2
愛知県	110	0	50	4	164	25	15.2	5
三重県	101	1	32	4	138	24	17.4	2
滋賀県	56	0	28	4	88	13	14.8	1
京都府	75	0	35	5	115	22	19.1	6
大阪府	153	3	17	3	176	35	19.9	0
兵庫県	112	0	27	1	140	22	15.7	2
奈良県	35	0	18	1	54	11	20.4	2
和歌山県	78	0	9	4	91	10	11.0	1
鳥取県	40	0	8	1	49	5	10.2	0
島根県	28	0	7	3	38	6	15.8	1
岡山県	46	0	15	5	66	14	21.2	1
広島県	135	3	28	6	172	40	23.3	5
山口県	78	2	12	4	96	11	11.5	0
徳島県	37	1	13	1	52	11	21.2	2
香川県	44	0	21	3	68	12	17.6	2
愛媛県	40	0	22	4	66	14	21.2	2
高知県	36	1	15	1	53	5	9.4	1
福岡県	106	1	21	8	136	21	15.4	2
佐賀県	44	0	15	2	61	10	16.4	1
長崎県	58	7	17	2	84	16	19.0	4
熊本県	54	1	15	4	74	13	17.6	0
大分県	41	12	17	0	70	16	22.9	3
宮崎県	91	2	19	0	112	18	16.1	1
鹿児島県	79	0	31	1	111	21	18.9	2
沖縄県	39	1	1	2	43	6	14.0	0
<b>計</b>	<b>3,983</b>	<b>75</b>	<b>1,088</b>	<b>197</b>	<b>5,343</b>	<b>883</b>	<b>16.5</b>	<b>105</b>

## 令和 3 年度日本スポーツ協会公認コーチ 3 養成講習会 (陸上競技) 開催要項

### 1. 目 的：

日本スポーツ協会（以下「JSP0」という。）と日本陸上競技連盟（以下「日本陸連」もしくは「JAAF」という。）は、公認スポーツ指導者制度に基づき、都道府県代表、ナショナルチーム、実業団等でのコーチングスタッフとして、ブロック及び全国大会レベルのアスリート、チームに対して競技力向上を目的としたコーチングを行う者を養成する。

### 2. 主 催：

公益財団法人日本スポーツ協会  
公益財団法人日本陸上競技連盟

### 3. カリキュラム：

(1) 共通科目：150 時間（事前・事後学習及び集合講習会）

#### ※公認スポーツ指導者養成講習会共通科目Ⅲ

1.	グッドコーチ（日本スポーツ協会公認スポーツ指導者）に求められる人間力
2.	グッドコーチに求められる医・科学的知識
3.	現場・環境に応じたコーチング

(2) 専門科目：60 時間以上（集合講習及び自宅学習）

### 4. 実施方法（開催期日・会場）：

(1) 共通科目：事前・事後学習と集合講習により構成する。

- ・事前学習：知識確認テストの合格が受講の条件となる。
- ・集合講習会：共通科目Ⅲを JSP0 が主催し、各競技合同で実施する。

講習会参加に係る経費（交通費、宿泊費等）については自己負担とする。

- ・事後学習：集合講習会での学びを振り返り、現場実践を踏まえた課題提出を課す。

※ 集合講習会で学んだ内容等に基づく課題に所定の期限までに取組み、レポートを作成・提出すること。

(2) 専門科目：集合講習（理論講習、実技、指導演習等）と自宅学習等により構成する。

※ 専門科目の計画・実施は、日本陸上競技連盟が主管する。

期日：2021 年 12 月 27 日(月)～12 月 31 日(金)のいずれか 4 日間 ※予定

場所：味の素ナショナルトレーニングセンター ※予定

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からカリキュラムの変更や講習会を中止または延期する場合がある。

### 5. 受 講 者：

公認スポーツ指導者育成の受講者受入方針（アドミッション・ポリシー）に定める内容の他、以下受講条件に合致する者を本講習会の受講者として受け入れる。

(1) 受講条件：

- ・受講する年の4月1日現在、満20歳以上の者。※陸上競技コーチ3については満27歳以上
- ・受講有効期間内で講習の全日程に参加が可能である者。
- ・本講習の受講に支障がない健康状態である者。
- ・インターネットサービス「指導者マイページ (<https://my.japan-sports.or.jp/login>)」から申込が出来る者。(申込用紙での受付はしない。)
- ・その他(当該競技団体に定める事項に該当する者)

※2021年4月1日現在、27歳以上の者。

※原則 JSP0 公認陸上競技コーチ1(JAAF ジュニアコーチ)の有資格者であること。

※都道府県陸協、日本実業団連合、日本陸連のいずれかが推薦し、日本陸連指導者養成委員会が認める者。

※日本陸上競技連盟登録者であること。

(2) 受講者数：60名程度とする

6. 受講申込：受講希望者は、全て日本陸連を通じて受講申し込みを行う。

(1) 申込方法：

インターネットサービス「指導者マイページ(<https://my.japan-sports.or.jp/login>)」のアカウント登録手続きを行い、指導者マイページから本講習会の申込手続きを行うこと。申込方法の詳細は、下記 URL を参照のこと。

■<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid210.html>

(2) 受付期間：未定

7. 受講料：38,500円(税込)

<内訳> ・共通科目：22,000円 ※リファレンスブック代別途3,300円  
 ・専門科目：16,500円 ※競技団体によって異なる。

※受講料及びリファレンスブック代(共通科目テキスト)は受講内定時に納入する。

※共通科目の受講免除・資格審査料等については別に定める。

※専門科目のテキストは別途、事前購入が必要となる。

8. 受講有効期間：4年間

9. 受講者の内定から決定までの流れ

- (1) 受講内定者は、日本陸連を経由して受講料を JSP0 に納める。
- (2) JSP0 において受講料の入金を確認した後、受講者として正式に決定する。
- (3) 受講申込の申請に基づき免除等の審査の上、受講者を決定し、本人宛に通知する。

10. 講習・試験の免除

既存資格及び JSP0 免除・適応コースの履修等により、講習・試験の一部又は全部を免除することができる。免除に関する詳細は別に定める。

## 11. 検定試験・審査

共通科目と専門科目に区分して実施する。

- (1) 共通科目：事前・事後学習と集合講習会、課題レポートによる総合判定とし、JSP0において審査する。
- (2) 専門科目：専門科目は技能検定を主体に筆記試験等を加えた総合判定とし、当該中央競技団体の専門科目検定委員会（部会）において審査する。  
※別紙「専門科目講習会実施要項」参照。

## 12. 登録及び認定

- (1) 共通科目及び専門科目の全ての検定試験に合格するなど、所定のカリキュラムを修了し、公認コーチ 3 として必要な資質能力を修得した者を修了者（「新規登録」対象者）と認め、修了通知と登録案内を送付する。
- (2) 公認スポーツ指導者登録規程に基づき、登録手続き（登録料の納入等）を完了した者を公認コーチ 3 として認定し、「認定証」及び「登録証」を交付する。  
※ JSP0 倫理規程第 4 条に違反する行為があったとして JSP0 が認めた時は、登録の権利を失い認定されない場合がある。
- (3) 登録料は 4 年間で 14,000 円（非課税）とする。  
※ 登録料の内訳：日本スポーツ協会 10,000 円、日本陸上競技連盟 4,000 円。  
※ 初回登録時は、初期登録手数料として別途 3,000 円が必要となる。  
※ すでに公認スポーツ指導者資格を取得している場合は登録料が異なる場合がある。
- (4) 資格の有効期間は 4 年間とし、4 年毎に更新する。ただし、公認コーチ 3 以外に公認スポーツ指導者資格（スポーツリーダーは除く）が認定されている場合、初回の有効期間は、新規認定期日からすでに認定されている資格の有効期限までとする。
- (5) 有効期間満了に伴う「更新登録」にあたっては、有効期限の 6 カ月前までに、JSP0 又は JSP0 加盟団体等の定める更新研修を修了するなどの要件を満たさなければならない。

## 13. 注意事項

- (1) 受講有効期間内に所定のカリキュラムを修了しない場合は、その時点で受講者としての権利をすべて喪失する。
- (2) 本講習会受講に際し取得した個人情報、本講習会受講者の管理及び諸連絡以外には使用しないものとする。
- (3) 本講習会の受講有効期間内に他の公認スポーツ指導者養成講習会の受講はできない。また、受講申込時点で他の JSP0 公認スポーツ指導者資格養成講習会の受講有効期間内又は未修了の場合は、本講習会への受講申込はできない。
- (4) 受講者としてふさわしくない行為があったと認められた場合は、JSP0 指導者育成委員会又は JSP0 加盟団体等で審査し受講が取り消される場合がある。
- (5) 本講習会風景の写真等は、JSP0 又は JSP0 加盟団体等のホームページ及びその他関連資料へ掲載する場合がある。
- (6) 天災地変や伝染病の流行、講習会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の JSP0 又は JSP0 加盟団体等が管理できない事由により、講習会内容の一部変更及び中止のために生

じた受講者の損害については、JSP0 又は JSP0 加盟団体等ではその責任を負わない。

14. 問合せ先

<共通科目について>

公益財団法人日本スポーツ協会 スポーツ指導者育成部 コーチ 3・4 担当  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE  
TEL : 03-6910-5812 MAIL : [coach@japan-sports.or.jp](mailto:coach@japan-sports.or.jp)

<専門科目について>

公益財団法人日本陸上競技連盟 担当：田中、磯貝  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9 階  
TEL:050-1746-8410 MAIL : [official-coach3@jaaf.or.jp](mailto:official-coach3@jaaf.or.jp)



2020 年 12 月 11 日

各加盟団体理事長（専務理事）殿

公益財団法人日本陸上競技連盟  
指導者養成委員長 山本 浩

## 2021 年度 JAAF 公認コーチ（日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 3） 養成講習会実施に伴う受講希望者の推薦について（お願い）

平素は、日本陸上競技界発展のため格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本連盟では 2012 年度より指導者制度を現制度に移行し、JAAF 公認コーチ（日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 3）養成講習会を実施しています。

この JAAF 公認コーチ養成の目的としましては “各都道府県にて強化・育成にあたる者”、“選手団の監督・引率を担う（もしくは将来的にそういった役割を担う）者” と位置づけています。

つきましては、貴陸協より上記の趣旨に鑑み、受講希望者をご推薦くださいますよう、お願い致します。

回答は、**2021 年 2 月 10 日（水）**までご返送をいただくようお願い致します。

※前年度と同様に、2021 年度につきましては諸般の事情により、講習会の開催、受講者数に関して制限せざるを得ず、下記の通りといたします。ご理解のほどいただけますよう、お願い申し上げます。

### 記

■養成コース名： JAAF 公認コーチ（日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 3）

■受講条件： 受講年度の 4 月 1 日現在満 27 歳以上で、日本陸上競技連盟登録者であること。  
都道府県陸協が推薦し、日本陸連指導者養成委員会が認める者。（陸協推薦の他、日本実業団連合、日本陸連からの推薦もある。）  
※各都道府県 1 名まで。  
日本陸上競技連盟登録者であること。  
原則、JAAF 公認ジュニアコーチ有資格者であること。

■受講予定者数： 60 名程度  
都道府県陸協推薦・日本実業団連合推薦・日本陸連推薦・過年度受講者

■受講料： 共通科目 22,000 円 専門科目 16,500 円 ※税込

■登録料（4 年間）： 14,000 円（初回登録時のみ新規登録料 3,000 円が別途必要） ※非課税

■実施時期： 2021 年 12 月 27 日（月）～31 日（金）のいずれか 4 日間 ※予定  
味の素ナショナルトレーニングセンター ※予定

\*その他、日本スポーツ協会が実施する共通科目集合講習会への参加、e ラーニングを含む事前学習（知識確認テスト）および事後課題の提出などが課せられます。

\*受講料納付時にリファレンスブック（共通科目テキスト）代として別途 3,300 円の納入が必要です。

\*日本スポーツ協会免除適応コース承認校（大学・専門学校）卒業者で共通科目 I・II・III の免除証明書を取得済みもしくは別資格にて共通科目 I・II・III の修了証を取得済みの場合、共通科目講習が免除されます。

\*共通科目の集合講習会については、日本スポーツ協会が提示する日程表にてご確認ください。

\*専門科目のテキストは別途事前購入が必要です。

\*受講有効期間は、4 年間です。期間内に受講を完了することで資格の取得が可能です。

■推薦締切：**2021 年 2 月 10 日（水）**

\*推薦者には、日本陸連から直接、受講申込関係書類をお送りします。

<本件に関するお問合せ>

日本陸上競技連盟 強化部 指導者養成課 担当：田中、磯貝

E-mail:coach@jaaf.or.jp TEL:050-1746-8410

以上

## JAAF 公認コーチ養成講習会

(日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 3 専門科目)

## 実施要領

## ■JAAF 公認コーチ養成講習会 (JSP0 公認陸上競技コーチ 3 専門科目) カリキュラム

資格の名称	JAAF 公認コーチ (日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 3)
養成目的・役割	都道府県レベルの競技者の指導、育成、強化にあたる指導者を養成する。都道府県で選手団の監督・コーチを担う者、指導者育成の中心的な役割を担う者を養成する。
受講料	共通科目 22,000 円 専門科目 16,500 円 ※税込 ※受講料入金時にリファレンスブック (共通科目テキスト) 代が別途 3,300 円必要です。
登録料 (4 年間)	14,000 円 (日本スポーツ協会 10,000 円、日本陸上競技連盟 4,000 円) ※非課税 ※初回登録時のみ、別途初期登録手数料 3,000 円
更新のための研修	資格登録有効期限 4 年間のうちに、最低 1 回は日本陸上競技連盟 (都道府県陸上競技協会が実施する研修会を含む) が定める研修または日本スポーツ協会 (都道府県体育協会が実施する研修会を含む) が実施する (認める) 研修を受けなければならない。
担当委員会	日本陸上競技連盟 指導者養成委員会

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
1. 種目の特性に応じた基礎理論	①	陸上競技の各種理論	11.5h	14h	25.5h
	②	陸上競技とドーピング防止	1.5h	0h	1.5h
	③	陸上競技の食事と栄養	1.5h	0h	1.5h
	④	陸上競技のルール	1.5h	0h	1.5h
	小 計		16h	14h	30h
2. 種目別実技指導法	①	陸上競技の種目別指導・演習	24h	6h	30h
	小 計		24h	6h	30h
合 計			40h	20h	60h

※日本スポーツ協会公認指導者制度の変更・更新により、上記に変更が生じる場合がある。

※新型コロナウイルス感染症等の対応により、上記に変更、中止、延期等が生じる場合がある。

## 2021 年度 JAAF 公認ジュニアコーチ (JSP0 公認陸上競技コーチ 1) 養成講習会 開催要項

- 目的 地域スポーツクラブ(スポーツ少年団を含む)、小・中・高校生の部活動において発育発達段階を考慮した、  
競技者育成のための基本指導ができる指導者を養成する。
- 主催 公益財団法人日本陸上競技連盟、公益財団法人日本スポーツ協会
- 主管 公益財団法人日本陸上競技連盟指導者養成委員会、開催陸上競技協会

### 1. カリキュラム

- (1) 共通科目 (スポーツリーダー養成講習)
- (2) 専門科目 40h (集合講習 30h / その他 10h) \* 専門科目の時間数は下記参照
- 本講習会は各科目とも日本スポーツ協会公認指導者資格を有する者が講師を担当する。

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
1. 種目の特性に応じた 基礎理論	①	発育発達段階を踏まえた競技者の育成	2h	1h	3h
	②	指導における各種理論	5h	3h	8h
	③	陸上競技の主なルール	1h	1h	2h
	④	部活動の運営と地域クラブ	1h	2h	3h
2. 実技指導法	①	陸上競技の種目別指導	19h	1h	20h
3. 実技指導演習	①	陸上競技の種目別指導の方法	2h	2h	4h
合 計			30h	10h	40h

※日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者制度の変更・更新により、上記に変更が生じる場合がある。  
※新型コロナウイルス感染症等により、上記に変更が生じる場合がある。

### 2. 開催地/日程/会場

都道府県陸協にて開催日程および会場を決定する。  
日程は3日間開催または4日間開催とする。※別紙開催日程表サンプル参照。  
開催地/日程/会場については、【開催日程一覧】を参照。 ※開催地決定後、一覧を作成する。  
詳細については各会場の開催要項で確認すること。

### 3. 受講条件

- (1) 受講年度の4月1日現在、**満20歳以上**で、現在陸上競技の指導に携っている者。もしくは将来陸上競技の指導に携わる希望がある者(学生など)で、日本陸上競技連盟指導者養成委員会が認める者。
- (2) 指定のカリキュラム(集合講習 30h)について、**自身で選択した1会場にて全日程を受講すること。**  
\* 公共交通事情を除き、30分以上の遅刻・早退・欠席が1日でもある場合は全日程の再受講となる。  
\* 再受講については、全日程を年度内に開催される別会場にて振替えての受講をすること。  
\* 体調不良、一身上の都合など個人的な事情については考慮しない。

### 4. 申込方法

- 申込みについては別紙の「JAAF 公認ジュニアコーチ講習会受講申込みについて」の申込手順を確認すること。
- (1) 申込期間 **各会場開催初日の約2ヶ月前(8週間前)~5週間前まで**  
※新型コロナウイルス感染症等の影響を考慮し申し込み期間の限定をしている。
- (2) 申込方法 **日本陸上競技連盟ホームページにて案内(イー・モシコムより申込み)**

### 5. 受講料 ※一部変更箇所があるため下記にて確認すること

- ・ 共通科目・専門科目受講：27,500円(税込) + 決済手数料
- ・ 専門科目のみ受講：16,500円(税込) + 決済手数料
- ・ 免除適用コース承認校在校生：16,500円(税込) + 決済手数料

◇本講習会は文部科学省認定教員免許更新講習(選択領域講習・18時間以上)として受講・申請することが可能。  
その場合の受講料は以下の通り。

- ・ 資格無し：共通科目・専門科目受講+教員免許更新講習：33,000円(税込) + 決済手数料
- ・ 資格無し：専門科目のみ受講+教員免許更新講習：22,000円(税込) + 決済手数料
- ・ 有資格者：教員免許更新講習のみの受講は15,000円(非課税) + 決済手数料

- \*イー・モシコムより、受講申込み後、受講料の納入を行なう。
- \*一旦納入された受講料は、理由の如何を問わず返金はしない。
- \*別途、指定の講習用テキストの事前購入が必要となる。

## 6. 検定・審査

講習に基づく検定・審査は、共通科目と専門科目の区分別に実施する。

- (1) 共通科目における検定試験は、日本スポーツ協会の判定・審査(6割以上)とする。
- (2) 専門科目における検定試験は、日本陸上競技連盟指導者養成委員会により、技能検定を主体に、筆記試験等を加えた総合判断とし審査(6割以上)する。
- (3) 共通科目・専門科目のいずれも検定に合格した者を、JAAF 公認ジュニアコーチ(日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ1)養成講習会修了者」として認める。

## 7. 資格認定

共通科目・専門科目の検定に合格(講習免除者を除く)し、日本スポーツ協会指導者登録(登録の申請・登録料の納入)を完了した者は、登録手続き完了から6ヶ月以後の4月1日、または10月1日付で、日本スポーツ協会より「コーチ1」として認定され、「認定証」および「登録証」が交付される。

※日本スポーツ協会指導者登録を完了しないと、指導者資格の認定とならない。

## 8. 登録・更新

### (1) 登録について

指導者資格登録には、以下の登録料が必要となる。また更新には更新研修の受講が必要となる。

◇登録料：14,000円(日本スポーツ協会10,000円+日本陸上競技連盟4,000円) ※4年間分、非課税

◇初期登録料：3,000円

\*合格後、日本スポーツ協会へ納入する。

### (2) 更新について

指導者としての登録有効期限は4年間となる。本資格の更新には、資格有効期限の6ヶ月前までに日本スポーツ協会(都道府県体育協会実施の研修も含む)または日本陸上競技連盟の定める更新研修を受けなければならない。

◇更新料：14,000円(日本スポーツ協会10,000円+日本陸上競技連盟4,000円) ※4年間分

\*資格登録後は4年ごとに更新料が必要となる。更新料は日本スポーツ協会へ納入する。

## 9. 受講有効期限

受講者は申込年度内(2021年度内)に講習会を受講しなければならない。年度内における申込後の会場変更は可能とする。なお、期限内に修了しない場合は、その時点で受講者としての権利をすべて喪失する。

## 10. 受講取消

受講者としてふさわしくない行為があったと認められた場合、日本陸上競技連盟指導者養成委員会にて審査し、受講を取消す場合がある。

## 11. その他

本講習会受講に際し取得した個人情報、日本スポーツ協会及び各都道府県スポーツ協会、日本陸上競技連盟及び各都道府県陸上競技協会が、受講管理に関する連絡(資料の送付等)と、関係事業を実施する際に利用し、これ以外の目的に個人情報を使用する際は、その旨を明示し了解を得るものとする。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、本講習会を直前に中止とする場合がある。この場合は、社会状況および主催者側の判断による中止となるため、受講料の返金を行う。ただし、申込み時の手数料等については対象としない。返金方法については、中止決定後、主催者から受講者へ連絡をする。なお、個人の判断による受講のキャンセルについて、返金は行わない。

## 12. 本件に関する問い合わせ

<ジュニアコーチ連絡担当窓口>

E-mail : [fukyu-info@jaaf.or.jp](mailto:fukyu-info@jaaf.or.jp)

TEL : 042-319-2263 (平日 10:00~17:00 \*土日祝日休み)

# 令和3年度 JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会(〇〇会場)日程表

競技名 陸上 競技

	第1日	第2日	第3日
期日			
会場	会場名		
住所会場最寄駅			
9:00	指導者の役割 I (コーチ哲学) 講師:陸連 1H	陸上競技の種目別指導 (跳の基本) 講師:陸協 1H	陸上競技の種目別指導 (投の基本) 講師:陸協 1H
10:00	指導者の役割 I (一貫指導) 講師:陸連 1H	陸上競技の種目別指導の方法 (走幅跳) 講師:陸協 1H	陸上競技の種目別指導 (砲丸投) 講師:陸協 1H
11:00	地域におけるスポーツ振興 (部活動と地域クラブの運営) 講師:陸連	陸上競技の種目別指導の方法 (三段跳) 講師:陸協 1H	陸上競技の種目別指導 (円盤投) 講師:陸協 1H
12:00	1.5H	昼休み	昼休み
12:30	昼休み		
13:00	スポーツと栄養 (スポーツ栄養) 講師:陸連 1H	陸上競技の種目別指導 (走り高跳) 講師:陸協 1H	陸上競技の種目別指導 (ハンマー投) 講師:陸協 1H
13:30		陸上競技の種目別指導 (棒高跳) 講師:陸協 1H	陸上競技の種目別指導 (やり投) 講師:陸協 1H
14:00	文化としてのスポーツ (文化としてのスポーツ) 講師:陸連	スポーツ指導者に必要な医学的知識 I (トレーニング理論) 講師:陸協 1H	スポーツ指導者に必要な医学的知識 I (スポーツ障害) 講師:陸協 1H
15:00	1.5H	ジュニア期のスポーツ (トレーニング計画) 講師:陸協 1H	スポーツ指導者に必要な医学的知識 I (スポーツ障害) 講師:陸協 1H
16:00	陸上競技の種目別指導 (走の基本) 講師:陸協 1H	トレーニング論 I (各種トレーニング) 講師:陸協 1H	陸上競技の種目別指導 (中長距離) 講師:陸協 1H
17:00	陸上競技の種目別指導 (リレー) 講師:陸協 1H	トレーニング論 I (基本の運動) 講師:陸協 1H	陸上競技のルール (陸上競技の主なルール) 陸協 1H
18:00	陸上競技の種目別指導 (ハードル) 講師:陸協 1H	陸上競技の種目別指導 (競歩) 講師:陸協 1H	筆記試験 1H
19:00	10H	10H	10H

# 令和3年度 JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会(〇〇会場)日程表

競技名 陸上 競技

	第1日	第2日	第3日	第4日
期日				
会場	会場名			
住所会場最寄駅				
9:00	指導者の役割 I (コーチ哲学) 講師:陸連 1H	陸上競技の種目別指導 (ハードル) 講師:陸協 1H	スポーツ指導者に必要な医学的知識 I (トレーニング理論) 講師:陸協 1H	陸上競技の種目別指導 (投の基本) 講師:陸協 1H
10:00	指導者の役割 I (一貫指導) 講師:陸連 1H	陸上競技の種目別指導 (跳の基本) 講師:陸協 1H	ジュニア期のスポーツ (トレーニング計画) 講師:陸協 1H	陸上競技の種目別指導 (砲丸投) 講師:陸協 1H
11:00	地域におけるスポーツ振興 (部活動と地域クラブの運営) 講師:陸連	陸上競技の種目別指導の方法 (走幅跳) 講師:陸協 1H	トレーニング論 I (各種トレーニング) 講師:陸協 1H	陸上競技の種目別指導 (円盤投) 講師:陸協 1H
12:00	1.5H			
12:30	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:00		陸上競技の種目別指導の方法 (三段跳) 講師:陸協 1H	トレーニング論 I (基本の運動) 講師:陸協 1H	陸上競技の種目別指導 (ハンマー投) 講師:陸協 1H
13:30	スポーツと栄養 (スポーツ栄養) 講師:陸連 1H			
14:00		陸上競技の種目別指導 (走り高跳) 講師:陸協 1H	陸上競技の種目別指導 (中長距離) 講師:陸協 1H	陸上競技の種目別指導 (やり投) 講師:陸協 1H
14:30	文化としてのスポーツ (文化としてのスポーツ) 講師:陸連			
15:30		陸上競技の種目別指導 (棒高跳) 講師:陸協 1H	陸上競技の種目別指導 (競歩) 講師:陸協 1H	陸上競技の種目別指導 (リレー) 講師:陸協 1H
16:30	陸上競技の種目別指導 (走の基本) 講師:陸協 1H	陸上競技のルール (陸上競技の主なルール) 講師:陸協 1H	スポーツ指導者に必要な医学的知識 I (スポーツ障害) 講師:陸協 1H	筆記試験 1H
18:00	陸上競技の種目別指導 (短距離) 講師:陸協 1H		スポーツ指導者に必要な医学的知識 I (スポーツ障害) 講師:陸協 1H	
	8H	7H	8H	7H

## JAAF 公認ジュニアコーチ (JSPO 公認コーチ 1) 資格取得までの流れ

資格取得には、下記の手順で手続きが必要となりますので、受講生の方はご一読ください。

なお、下記すべての手続きが終了しないと資格取得となりません。

### 1. 受講申し込み

### 2. 自宅学習課題への取り組み

### 3. JAAF 公認専門科目(JAAF ジュニアコーチ)講習会の受講

※全日程を受講し、筆記試験で基準点を超えた方が合格者となります。

合格者には、講習会后、約 2 か月で修了証を送付します。

※共通科目 I 受講の方は WEB テストを講習会終了までに受験し合格してください。

### 4. 修了証の発行と送付

講習会終了後、約 2 か月程度でご自宅に専門科目修了証と、該当者のみスポーツリーダー認定証を送付します

※スポーツリーダー認定証は、共通科目 I を受講し、WEB テストに合格した方に送付します。

### 5. 指導者マイページから申請手続き

日本スポーツ協会の HP 内で「指導者マイページ」を作成し、『共通科目免除・専門科目免除』の手続きを行ってください。

### 6. 登録手続き

日本スポーツ協会より「登録の案内」が届きますので、案内に従って手続き（登録料の納入を含む）を行ってください。

### 7. 交付期日

手続き完了日によって、認定日（交付日）が異なりますのでご注意ください。

・6月1日から11月末日に申請された方 → 4月1日付で交付されます

・12月1日から5月末日に申請された方 → 10月1日付で交付されます

### 8. 日本スポーツ協会より「認定証」・「登録証」の交付（資格取得）

## 第 27 回 JAAF コーチングクリニック開催要項

### 学び続ける指導者のために～多角的にコーチングを考える～

例年、指導者の皆様から大変好評をいただいております「JAAF コーチングクリニック」について、下記の要項で開催いたします。

今回は、「学び続ける指導者のために～多角的にコーチングを考える～」をテーマに掲げ、新しい生活様式下に対応したりリモート形式の講習会を開催します。受講者の皆様の興味に合わせて講義を選択できるよう、リアルタイムで情報をお届けするライブ形式の講義と、ご自身の時間に合わせて受講ができるオンデマンドの講義をご用意いたします。各講師はそれぞれの分野で活躍されている方を予定しています。

このような社会状況の中、指導者の皆さまにおかれましては、様々なご苦勞のもと、日々の指導にあたられていることと思います。指導者の皆さまにとって、有意義なプログラムを用意しておりますので奮ってご参加ください。

### 開 催 要 項

- 主 催 : 公益財団法人日本陸上競技連盟  
 協 賛 : アシックスジャパン株式会社  
 開 催 方 法 : ①ライブ配信による講義 2021年1月11日(月・祝) 15:30~17:00  
 及び開催日 ②オンデマンド配信による講義 2021年1月12日(火)~2月14日(日)  
 募 集 対 象 : JAAF 公認指導者資格 有資格者(日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ1・2・3・4)  
 小学校・中学校・高校・大学・実業団やクラブの指導者、陸上競技に興味のある方  
 定 員 : 100名 ※先着順で定員に達し次第締め切ります  
 講習会内容 : 本講習は以下の必修講義と選択講義から構成されます。
- ①ライブ配信による講義(必修): 約1.5時間、1回配信
- ・「広く見る 重心を探る ～求められる指導者の役割～」  
 講師: 山本浩氏(日本陸連指導者養成委員会 委員長/法政大学 教授)
  - ・「アスリートの目線とコーチの視点」  
 講師: 豊田裕浩氏(中央大学陸上競技部 コーチ/飯塚翔太選手専任コーチ)  
 飯塚翔太氏(ミズノ)  
 コーディネーター: 山本浩氏(日本陸連指導者養成委員会 委員長/法政大学 教授)
- ②オンデマンド配信による講義(選択): 1講義あたり1時間程度、約1ヶ月の配信
- ・講義①「競技生活を医科学的側面から振りかえる」  
 講師: 室伏由佳氏(順天堂大学スポーツ健康科学部 講師)
  - ・講義②「女性アスリートの三主徴から RED-S へ」



講師：能瀬さやか氏(東京大学附属病院女性診療科・産科 医師)

・講義③「スポーツマンシップを通して世界に通じる人間力を磨く」

講師：中村聡宏氏(一般社団法人日本スポーツマンシップ協会 会長/  
千葉商科大学サービス創造学部 専任講師)

・講義④「TSM式クラブ運営・指導の工夫」

講師：井上克俊氏(TSM 代表)

高辻真氏(TSM ヘッドコーチ)

受講料：【Aコース】必修講義+選択講義 2 講義(計 3 講義の受講)

JAAF 公認指導者資格 有資格者 5,500 円(税込) / それ以外の方 7,700 円(税込)

【Bコース】必修講義+選択講義 全講義(最大 5 講義の受講)

JAAF 公認指導者資格 有資格者 6,600 円(税込) / それ以外の方 8,800 円(税込)

※受講料は理由の如何に関わらず返却いたしかねます。予めご了承ください。

申込方法：<https://moshicom.com/47161/>

申込開始は 11 月 2 日(月)~12 月 20 日(日)

但し、先着 100 名に達し次第締め切ります。

※お申込みはインターネットのみとなりますので予めご了承ください。

※【Aコース】をご選択の場合、申込み時に選択講義から 2 講義をお選びいただけます。

申込サイト



その他：(1)「JAAF コーチングクリニック」は日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の「更新研修」として位置付けております。指導者資格をお持ちの方は積極的な受講をお願いいたします。

※【Aコース】【Bコース】いずれの受講でも更新研修の対象となります。

※受講(視聴)状況はシステム上で確認します。

(2) 本講習会は、リモート形式(オンライン)での講習となりますので、それぞれで受講できる環境をご準備下さい。

※通信にかかる費用等をご自身でご負担ください。

(3) 受講者の皆様には 12 月 25 日(金)ごろメールにて詳細をご案内いたします。

※coach@jaaf.or.jp からのメールが受信できるよう設定をご確認ください。

(4) 本講習会におけるオンライン学習に使用するシステムは以下の通りです。

①ライブ配信による講義：WEB 会議システム(ZOOM)

②オンデマンド配信による講義：オンライン学習システム(ひかりクラウドスマート  
スタディ)

(5) 講習会に関するその他詳細については日本陸連 HP へ掲載いたします。

<https://www.jaaf.or.jp/development/>



日本陸連 HP

問合せ：公益財団法人日本陸上競技連盟 指導者養成課 コーチングクリニック係 (田中・古田)

T E L : 050-1746-8410 (平日：10:00-18:00)

M a i l : coach@jaaf.or.jp

2021 年度 JAAF U10 指導者講習会 兼 みんな集まれ!!陸上遊び  
〇〇会場 開催要項 (案)

※新型コロナウイルス感染症等の対応策について

日本陸上競技連盟主催事業では、「陸上競技活動再開についてのガイダンス」に準拠し運営を行います。ガイダンス最新版は、本連盟 HP (URL : <https://www.jaaf.or.jp/on-your-marks/>) に掲載をしておりますので、参加者及び関係者の皆様は、必ず事前にお目通しいただき、感染症対策を徹底したうえでのご参加をお願い致します。

また、今後、新型コロナウイルス感染症による社会状況やガイダンスの更新にあたり、開催要項の変更、中止または延期等の可能性がございます。予めご了承ください。

[趣 旨] 児童期は、陸上競技の基礎をつくる大切な時期と考え、子どもたちに対してできるだけ多く体験の場を作るとともに、それを支援する指導者を始めとするアントラージュ(\*)の拡充に取り組む必要がある。

日本陸連指導者養成委員会は各地へ講師を派遣し、以下の目的で子どもたちと指導者のための講習会を展開する。

- ・小学生を対象にスポーツの基本となる「走」「跳」「投」プログラムの体験を通して、身体活動の楽しさに触れ、仲間と交流し、生涯にわたって陸上競技や他のスポーツを楽しむきっかけを作る。
- ・子どもたちが自身の成長に興味をもち、スポーツ活動を長く楽しむための知識を保護者とともに学ぶ。
- ・陸上競技の指導者(小学生を対象とした)に向けて、安全かつ子どもの発育発達を考慮した適切な指導方法を紹介する。

(\*)アントラージュ：競技者が競技力を最大限に発揮するための支援や、競技環境の整備などを行う関係者。例えば、指導者、トレーナー、医療スタッフ、科学者、家族、競技団体の役職員、審判員などが含まれる。

[主 催] 日本陸上競技連盟

[主 管] 〇〇陸上競技協会

[協 賛] アシックスジャパン株式会社、その他未定

[講 師] 日本陸上競技連盟派遣講師 3名+栄養1名 \*都道府県陸協より講師補助〇名

[日 程] 20〇〇年〇〇月〇〇日 (〇)

受付開始：午前〇時〇〇分 プログラム実施：8時45分～14時10分

[会 場] 〇〇市〇〇小学校 (小学校のグラウンド：実技で使用 教室：理論講習で使用)

※市町村単位での開催、都道府県単位での開催、学校やクラブ単位での開催いずれも可能

[参加者] 県内小学生 (3・4年生) およびその指導者・保護者を対象とする

[参加料] 無料

[定 員] 小学生40名・指導者30名 (15名以上)

[参加者募集方法] 〇〇陸上競技協会による (教育委員会並びに学校〇〇〇〇、等)

[内 容] 理論講習：発育発達・栄養 ※指導者向け(前日)：安全管理、環境など場の設定、コーチングスキル

実技：基本の運動・動きづくり (種目別基本の動きを含む)

2021 年度 JAAF U10 指導者講習会 兼 みんな集まれ!!陸上遊び  
○○会場 開催要項 (案)

前日スケジュール ※指導者のみ参加

予定時間	目安		実施内容 (予定)
17:30~18:00	30分	打合せ	前日打合せ (進行・役割分担等の確認) : 陸連講師、陸協担当者
18:00~19:00	60分	指導者向け講習	講習「安全管理、環境など場の設定、コーチングスキル」 : 陸連講師、指導者講習会参加者 ※リモート参加も可能

※曜日 (金曜日または土曜日) によって時間調整をする。

※場所は陸協担当者と相談する。可能であれば講習会を実施する学校 (会場) で行えると良い。

当日スケジュール

予定時間	目安		実施内容 (予定)
(仮 07:30)		陸協担当者集合	準備 ※陸協担当者集合時間は各陸協で設定
08:00~08:30		参加者受付	○○陸協
08:00~08:15		陸連講師集合	準備
08:20~08:40		打合せ	陸連講師、陸協担当者 その後会場準備
08:45~09:00	15分	開講式	挨拶 日本陸連 ○○、○○陸協 ○○ 講師紹介 日本陸連 ○○、○○、○○ 諸連絡 ○○陸協 ○○
09:05~09:25	20分	理論講習	発育発達 講師: ○○
09:35~10:20	45分	実技 走運動	ウォーミングアップおよび「ラン (走遊び)」 -短距離走・ハードルに繋がる走遊び -ラダースクリントやウレタンハードル等を使用した走運動 -最後にシャトルリレーやOm走 (計測) 等 講師: ○○、○○、○○
10:30~11:05	35分	実技 *AB グループ分け 跳運動	「ジャンプ (跳遊び)」 -走幅跳・走高跳に繋がる跳遊び -○○○○○○○ 講師: ○○
11:15~11:50	35分	実技 *AB グループ分け 投運動	「スロー (投遊び)」 -ジャベリックボール投や投げる運動に繋がる投遊び -ジャベリックボール (ミニ) 投げ・ターゲットスロー等 講師: ○○
12:00~12:20	20分	ゲームやリレー等	キッズデカスロンチャレンジ・フォーミュラ I をイメージしたリレー 例: スタート→ラダー→ケンステップ→ウレタンハードル→ジャベ→じゃんけん→バトンパス (リングバトン使用) 等
12:25~12:55	30分	昼食	昼食 (30分) 講師: ○○ ※昼食後、引き続き栄養講習
13:00~13:30	30分	栄養講習	栄養講習 (30分) 講師: ○○

2021 年度 JAAF U10 指導者講習会 兼 みんな集まれ!!陸上遊び  
○○会場 開催要項 (案)

13:40~13:55	15分	閉講式	日本陸連 氏名：○○ (参加者から質問、講師から統括、参加者から御礼の言葉等) ※集合写真撮影 ※閉講式後、小学生は解散
13:55~14:10	15分	総括(指導者)	指導者振り返り・質疑応答(含 実技各種目の質疑応答)
14:10~		後片付け・反省会	陸連、陸協、(片付けは参加指導者もお手伝い) ※15:00 までには解散し、陸連講師は帰京する

- \*保護者は理論講習については選手と一緒に受講し、実技は見学とする。
- \*参加者数、会場、天候等により、進行時間の変更される場合がある。
- \*栄養講習の時間帯に指導者と陸連講師との意見交換や質問等を行なうことも可能。
- \*雨天時は会場(学校や体育館や室内)の状況により講師が実施内容を判断する。
- \*本講習会は日本スポーツ協会公認指導者資格(陸上競技コーチ 1~4)の更新研修として位置付けます(講師補助として参加の指導者を含む)。
- \*本講習会は熱中症にも対応した傷害保険に加入します。保険内容については日本陸連担当者へお問合せください。
- ※講習会参加中に負傷した場合に限る。

[お問合せ]	○○陸上競技協会 担当：○○○○ TEL：○○○○ E-mail：○○○○  日本陸上競技連盟 強化部 指導者養成課 担当：古田・田中 TEL：050-1745-1770 E-mail： <a href="mailto:coach@jaaf.or.jp">coach@jaaf.or.jp</a>
--------	--

2021 年度 JAAF U10 指導者講習会 兼 みんな集まれ!!陸上遊び  
○○会場 開催要項 (案)

<その他確認事項>

開催時期は 2021 年 10 月から 2022 年 3 月までの間をお願いいたします。

下記について今後詳細を確認し、日本陸連から連絡をします。

- ・指導レクチャー動画の共有について
- ・テキストについて
- ・前日打合せおよび指導者向け講習について（懇親会は無し）

日本陸連と都道府県陸協 役割と負担について	
◎ 日本陸連の役割・負担	◎ 開催地の役割・負担
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師派遣 (栄養講師含む)</li> <li>・陸連派遣講師にかかわる謝金・交通費・日当の負担</li> <li>・講習で使用する備品（テキストや実技用教材）の手配および搬送費用の負担 ※デカチャレ備品追加も確認</li> <li>・運営マニュアル作成と共有</li> <li>・更新研修についての申請（JSP0）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場の手配と会場使用料の負担</li> <li>・参加者（小学生、指導者）の募集</li> <li>・陸協スタッフの調整、手配、経費の負担（必要に応じて）</li> <li>・講習会当日の昼食手配（日本陸連派遣講師を含む）</li> <li>・備品受取り（事前）と終了後の備品発送</li> <li>・参加者名簿（小学生、指導者、陸協担当者とも）の提出</li> <li>・更新研修対象者管理（名簿作成、提出）</li> </ul>

※開催地補助金の支給はありません。（※助成金申請状況とあわせて今後確認）

2021 年度 JAAF U13 指導者講習会 兼 みんな集まれ!!陸上運動  
○○会場 開催要項 (案)

※新型コロナウイルス感染症等の対応策について

日本陸上競技連盟主催事業では、「陸上競技活動再開についてのガイダンス」に準拠し運営を行います。ガイダンス最新版は、本連盟 HP (URL : <https://www.jaaf.or.jp/on-your-marks/>) に掲載をしておりますので、参加者及び関係者の皆様は、必ず事前にお目通しいただき、感染症対策を徹底したうえでのご参加をお願い致します。

また、今後、新型コロナウイルス感染症による社会状況やガイダンスの更新にあたり、開催要項の変更、中止または延期等の可能性がございます。予めご了承ください。

[趣 旨] 児童期は、陸上競技の基礎をつくる大切な時期と考え、子どもたちに対してできるだけ多くの体験の場を作るとともに、それを支援する指導者を始めとするアントラージュ(\*)の拡充に取り組む必要がある。

日本陸連指導者養成委員会は各地へ講師を派遣し、以下の目的で子どもたちと指導者のための講習会を展開する。

- ・小学生を対象にスポーツの基本となる「走」「跳」「投」プログラムの体験を通して、身体活動の楽しさに触れ、仲間と交流し、生涯にわたって陸上競技や他のスポーツを楽しむきっかけを作る。
- ・子どもたちが自身の成長に興味をもち、スポーツ活動を長く楽しむための知識を保護者とともに学ぶ。
- ・陸上競技の指導者(小学生を対象とした)に向けて、安全かつ子どもの発育発達を考慮した適切な指導方法を紹介する。

(\*)アントラージュ：競技者が競技力を最大限に発揮するための支援や、競技環境の整備などを行う関係者。例えば、指導者、トレーナー、医療スタッフ、科学者、家族、競技団体の役職員、審判員などが含まれる。

[主 催] 日本陸上競技連盟

[主 管] ○○陸上競技協会

[協 賛] アシックスジャパン株式会社、その他未定

[講 師] 日本陸上競技連盟派遣講師 \*3名+栄養1名 \*都道府県陸協より講師補助○名

[日 程] 20○○年○○月○○日 (○)

受付開始：午前○時○○分 プログラム実施：8時45分～15時15分

[会 場] ○○市○○小学校 (小学校のグラウンド：実技に使用 教室：理論講習に使用)

※市町村単位での開催、都道府県単位での開催、学校やクラブ単位での開催いずれも可能

[参加者] 県内小学生 (5・6年生) およびその指導者・保護者を対象とする

[参加料] 無料

[定 員] 小学生 60名・指導者 30名 (15名以上)

[参加者募集方法] ○○陸上競技協会 (教育委員会並びに学校○○○○、等)

[内 容] 理論講習：発育発達・栄養 ※指導者向け：安全管理、環境など場の設定、コーチングスキル等  
実技：基本の運動・動きづくり (種目別基本の動きを含む)

2021 年度 JAAF U13 指導者講習会 兼 みんな集まれ!!陸上運動  
○○会場 開催要項 (案)

## 前日スケジュール ※指導者のみ参加

予定時間			実施内容 (予定)
17:30~18:00	30分	打合せ	前日打合せ (進行・役割分担等の確認) : 陸連講師、陸協担当者
18:00~19:00	60分	指導者向け講習	講習「安全管理、環境など場の設定、コーチングスキル」 : 陸連講師、指導者講習会参加者 ※リモート参加も可能

※曜日 (金曜日または土曜日) によって時間調整をする。

※場所は陸協担当者とは相談する。可能であれば講習会を実施する学校 (会場) で行えると良い。

## 当日スケジュール

予定時間			実施内容 (予定)
(仮 07:30)		陸協担当者集合	準備 ※陸協担当者集合時間は各陸協で設定
08:00~08:30		参加者受付	○○陸協
08:00~08:15		陸連講師集合	準備
08:20~08:40		打合せ	陸連講師、陸協担当者 その後会場準備
08:45~09:00	15分	開講式	挨拶 日本陸連 ○○、○○陸協 ○○ 講師紹介 日本陸連 ○○、○○、○○ 諸連絡 ○○陸協 ○○
09:00~09:20	20分	理論講習	発育発達 講師 : ○○
09:30~10:40	70分	実技 走運動 (短距離)	ウォーミングアップおよび走運動 (短距離・ハードル) ①アップ (10分) ②走りの動き作り (スキップやミニハードルを含め 20分) ③ハードル (30分) 50m 走 計測 (10分) ※70分の中で小休憩を入れる 講師 : ○○、○○、○○
10:50~11:30	40分	実技 跳運動 (走幅跳) *AB グループ分け	跳運動 (走幅跳) ○○○○○○ 講師 : ○○○○
11:40~12:20	40分	実技 跳運動 (走高跳) *AB グループ分け	跳運動 (走高跳) ○○○○○○ 講師 : ○○○○
12:20~12:50	30分	昼食	昼食 (30分) 講師 : ○○ ※昼食後、引き続き栄養講習 (食休みを兼ねて)

2021 年度 JAAF U13 指導者講習会 兼 みんな集まれ!!陸上運動  
○○会場 開催要項 (案)

12:55~13:35	40 分	栄養講習	栄養講習 (40 分) 講師:○○
13:45~14:35	50 分	実技 投運動 (ジャベリックボール投)	投運動 (ジャベリックボール投) 講師:○○
14:45~15:00	15 分	閉講式	日本陸連 氏名:○○ (参加者から質問、講師から統括、参加者から御礼の言葉等) ※集合写真撮影 ※小学生は解散
15:00~15:15	15 分	総括 (指導者)	指導者振り返り・質疑応答 (含 実技各種目の質疑応答)
15:15~		後片付け・反省会	陸連、陸協、(片付けは参加指導者もお手伝い) ※16:00 までには解散し、陸連講師は帰京する

- \*保護者は理論講習については選手と一緒に受講、実技は見学とする。
- \*栄養講習の時間帯に指導者と陸連講師との意見交換や質問等を行なうことも可能。
- \*跳運動・投運動での記録計測 (有無および方法等) は実技の内容により講師が決定する。
- \*雨天時は会場 (学校や体育館や室内) の状況により講師が実施内容を判断する。
- \*本講習会は日本スポーツ協会公認指導者資格 (陸上競技コーチ 1~4) の更新研修として位置付けます (講師補助として参加の指導者を含む)。
- \*本講習会は熱中症にも対応した傷害保険に加入します。保険内容については日本陸連担当者へお問合せください。
- ※講習会参加中に負傷した場合に限る。

[お問合せ] ○○陸上競技協会  
担当:○○○○  
TEL:○○○○  
E-mail:○○○○

日本陸上競技連盟 強化部 指導者養成課  
担当:古田・田中  
TEL:050-1745-1770  
E-mail: [coach@jaaf.or.jp](mailto:coach@jaaf.or.jp)



2021 年度 JAAF U13 指導者講習会 兼 みんな集まれ!!陸上運動  
○○会場 開催要項 (案)

<その他確認事項>

開催時期は 2021 年 10 月から 2022 年 3 月までの間をお願いいたします。

下記について今後詳細を確認し、日本陸連から連絡をします。

- ・指導レクチャー動画の共有について
- ・テキストについて
- ・前日打合せおよび指導者向け講習について（懇親会は無し）

日本陸連と都道府県陸協 役割と負担について	
◎ 日本陸連の役割・負担	◎ 開催地の役割・負担
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師派遣 (栄養講師含む)</li> <li>・陸連派遣講師にかかわる謝金・交通費・日当の負担</li> <li>・講習で使用する備品（テキストや実技用教材）の手配および搬送費用の負担</li> <li>・運営マニュアル作成と共有</li> <li>・更新研修についての申請（JSP0）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場の手配と会場使用料の負担</li> <li>・参加者（小学生、指導者）の募集</li> <li>・陸協スタッフの調整、手配、経費の負担（必要に応じて）</li> <li>・講習会当日の昼食手配（日本陸連派遣講師を含む）</li> <li>・備品受取り（事前）と終了後の備品発送</li> <li>・参加者名簿（小学生、指導者、陸協担当者とも）の提出</li> <li>・更新研修対象者管理（名簿作成、提出）</li> </ul>

※開催地補助金の支給はありません。（※助成金申請状況とあわせて今後確認）

2021 年度 JAAF U16 指導者講習会 兼みんな集まれ!!陸上の基本運動  
〇〇会場 開催要項 (案)

※新型コロナウイルス感染症等の対応策について

日本陸上競技連盟主催事業では、「陸上競技活動再開についてのガイダンス」に準拠し運営を行います。ガイダンス最新版は、本連盟 HP (URL : <https://www.jaaf.or.jp/on-your-marks/>) に掲載をしておりますので、参加者及び関係者の皆様は、必ず事前にお目通しいただき、感染症対策を徹底したうえでのご参加をお願い致します。

また、今後、新型コロナウイルス感染症による社会状況やガイダンスの更新にあたり、開催要項の変更、中止または延期等の可能性がございます。予めご了承ください。

[趣 旨] 陸上競技の普及を目的として、走跳投の基本的な運動を中学生が正しく学び、楽しさを体験すると同時に、中学生の指導について指導者に正しく学んでもらうために、日本陸上競技連盟が講師を派遣して実施する。

[主 催] 日本陸上競技連盟

[主 管] 〇〇陸上競技協会

[協 賛] アシックスジャパン株式会社、その他未定

[講 師] 日本陸上競技連盟派遣講師 3 名 \*都道府県陸協より講師補助〇名

[日 程] 20〇〇年〇〇月〇〇日 (〇)

受付開始：午前〇時〇〇分 プログラム実施：8 時 45 分～15 時 20 分

[会 場] 〇〇市〇〇中学校 (学校のグラウンド：実技で使用 教室：理論講習で使用) または陸上競技場

[参加者] 中学 1 年生、およびその指導者・保護者を対象とする

[定 員] 中学生 60 名・指導者 30 名 (15 名以上)

[参加者募集方法] 〇〇陸上競技協会 (教育委員会並びに学校〇〇〇〇〇〇)

[内 容] 理論講習：発育発達 ※指導者向け：安全管理、環境など場の設定、コーチングスキル等  
実技：基本の運動・動きづくり (種目別基本の動きを含む)

2021 年度 JAAF U16 指導者講習会 兼みんな集まれ!!陸上の基本運動  
○○会場 開催要項 (案)

## 前日スケジュール ※指導者のみ参加

予定時間	目安		実施内容 (予定)
17:30~18:00	30分	打合せ	前日打合せ(進行・役割分担等の確認): 陸連講師、陸協担当者
18:00~19:00	60分	指導者向け講習	講習「安全管理、環境など場の設定、コーチングスキル」: 陸連講師、指導者講習会参加者 ※リモート参加も可能

※曜日(金曜日または土曜日)によって時間調整をする。

※場所は陸協担当者と相談する。可能であれば講習会を実施する学校(会場)で行えると良い。

## 当日スケジュール

予定時間	目安		実施内容 (予定)
(仮 07:30)		陸協担当者集合	準備 ※陸協担当者集合時間は各陸協で設定
08:00~08:30		参加者受付	○○陸協
08:00~08:15		陸連講師集合	準備
08:20~08:40		打合せ	陸連講師、陸協担当者 その後会場準備
08:45~09:00	15分	開講式	挨拶 日本陸連 ○○、○○陸協 ○○ 講師紹介 日本陸連 ○○、○○、○○ 諸連絡 ○○陸協 ○○
09:00~09:30	30分	理論講習	発育発達 講師:○○
10:00~11:20	80分	実技 走運動 (短距離)	ウォーミングアップ、走運動およびハードルの基本運動 ①アップ(10~15分) ②走運動(20分) ③ハードル(30分) 100m走 計測(15分) ※80分の中で小休憩を入れる 講師:○○○○、○○○○、○○○○
11:30~12:40	70分	実技 跳運動 (走幅跳 or 走高跳)	跳運動(基本運動)および選択種目(※)、記録計測 ※走り幅跳び・走り高跳び <u>どちらか1種目選択(全員で実施)</u> 講師:○○○○
12:40~13:40	60分	昼食	昼食(60分) ※時間調整含め
13:40~14:50	70分	実技 投運動 (ジャベボール)	投運動(基本運動)およびジャベボール、記録計測 講師:○○○○
15:00~15:15	15分	閉講式	日本陸連 氏名:○○ (参加者から質問、講師から統括、参加者から御礼の言葉等) ※集合写真撮影の後中学生は解散

\*理論講習:中学生、指導者・保護者とも参加。実技:中学生が受講し、指導者・保護者は見学。

\*跳運動(走幅跳 or 走高跳)は、陸協がどちらか1つを選択し、全員が同じ種目を行う。

2021 年度 JAAF U16 指導者講習会 兼みんな集まれ!!陸上の基本運動  
○○会場 開催要項 (案)

- \* 昼食時間帯に指導者と陸連講師との意見交換や質問等を行なうことも可能。
- \* 雨天時は会場（学校や体育館や室内）の状況により講師が実施内容を判断する。
- \* 本講習会は日本スポーツ協会公認指導者資格（陸上競技コーチ 1～4）の更新研修として位置付けます（講師補助として参加の指導者を含む）。
- \* 本講習会は熱中症にも対応した傷害保険に加入しております。保険内容については担当者へお問合せください。
- ※講習会参加中に負傷した場合に限る。

[お問合せ]   ○○陸上競技協会  
                  担当：○○○○  
                  TEL：○○○○  
                  E-mail：○○○○

日本陸上競技連盟 強化部 指導者養成課  
担当：古田・田中  
TEL：050-1745-1770  
E-mail：[coach@jaaf.or.jp](mailto:coach@jaaf.or.jp)

2021 年度 JAAF U16 指導者講習会 兼みんな集まれ!!陸上の基本運動  
〇〇会場 開催要項 (案)

<その他確認事項>

開催時期は2021年10月から2022年3月までの間をお願いいたします。

下記について今後詳細を確認し、日本陸連から連絡をします。

- ・テキストについて（中学校部活動の手引きの活用を含む）
- ・前日打合せおよび指導者向け講習について（懇親会は無し）

日本陸連と都道府県陸協 役割と負担について	
◎ 日本陸連の役割・負担	◎ 開催地の役割・負担
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師派遣 (栄養講師含む)</li> <li>・ 陸連派遣講師にかかわる謝金・交通費・日当の負担</li> <li>・ 講習で使用する備品（テキストや実技用教材）の手配および搬送費用の負担</li> <li>・ 運営マニュアル作成と共有</li> <li>・ 更新研修についての申請（JSP0）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会場の手配と会場使用料の負担</li> <li>・ 参加者（小学生、指導者）の募集</li> <li>・ 陸協スタッフの調整、手配、経費の負担（必要に応じて）</li> <li>・ 講習会当日の昼食手配（日本陸連派遣講師を含む）</li> <li>・ 備品受取り（事前）と終了後の備品発送</li> <li>・ 参加者名簿（小学生、指導者、陸協担当者とも）の提出</li> <li>・ 更新研修対象者管理（名簿作成、提出）</li> </ul>

※開催地補助金の支給はありません。

## 各都道府県における更新研修（旧：義務研修）の実施について

公認スポーツ指導者資格の有効期間は資格登録後4年間です。資格を更新するためには資格有効期限の6か月前までに、日本スポーツ協会あるいは当該中央競技団体等の定める研修会（更新研修）を最低1回受けることが義務づけられています。各都道府県において、年に最低1回、3時間以上の更新研修の実施をお願い致します。

- |               |  |
|---------------|--|
| 1. 開催頻度       | 年1回以上  |
| 2. 開催場所       | 各都道府県陸協にて実施  |
| 3. 更新研修実施の条件  | 集合研修3時間以上  |
| 4. 更新研修実施のルール | <ul style="list-style-type: none"><li>・スポーツに関する講演、講義または研究発表、実技、指導実習、研究協議などによって構成されていること</li><li>・時間数が<b>3時間以上</b>の集合講習であること</li><li>・各陸協または日本陸上競技連盟が認める講師によって講習が行われること</li></ul> |

※オンラインリモートによる研修を検討・希望される場合は、事前に日本陸連にご相談ください。  
※各陸協で既に行っている取り組み（下記等）を更新研修として位置づけて実施していただくことも可能です。指導者に向けた講習会形式に限らず、競技会やイベントの実施運営等の活動も上記ルールのもと、認められます。ただし、各種資格取得のための講習会は更新研修にあてることができません。ご不明な点は日本陸連までお問い合わせください。

- ①各陸協主催の練習会や強化／研修合宿
  - ②競技会と連動した講習会の実施
  - ③各陸協主催の各種イベント（陸上・かけっこ教室、講習会、研修会等）
  - ④日本陸上競技連盟主催の各種事業・イベント（U10/U13/U16 指導者講習会兼 みんな集まれ!!陸上運動（現状未定）・コーチングクリニック等）
- ※開催の際に日本陸連よりご案内いたします。

○更新研修実施方法・流れ ※日本陸連オフィシャルホームページ「指導者養成委員会」内掲載

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/fukyu/>

1. 開催日の1か月前までに、入力フォームで日本陸連に申請  
<https://forms.gle/u2twqRWdG7DVBzZ39>
2. 日本陸連指導者養成担当者が日本スポーツ協会に申請（要承認）
3. 更新研修終了後、2週間以内に、受講者名簿を日本陸連担当宛てにメールで提出  
coach@jaaf.or.jp
4. 日本陸上競技連盟担当者が、日本スポーツ協会に報告

本件に関するお問い合わせ： 日本陸上競技連盟事務局 田中・古田 Mail: coach@jaaf.or.jp Tel: 050-1746-8410
--

## JSPO公認指導者管理システム管理者登録状況

2020年11月現在

陸協	管理者アカウントの有無	アカウント数	備考
北海道			
青森県	有	2	
岩手県			
宮城県			
秋田県	有	2	
山形県	有	2	
福島県	有	2	
茨城県	有	1	
栃木県			
群馬県	有	1	
埼玉県	有	1	
千葉県	有	1	
東京都			
神奈川県	有	2	
新潟県	有	1	
富山県			
石川県	有	1	
福井県	有	1	
山梨県	有	2	
長野県	有	1	
岐阜県			
静岡県	有	1	
愛知県	有	1	
三重県	有	2	
滋賀県	有	2	
京都府	有	1	
大阪府	有	1	
兵庫県	有	2	
奈良県			
和歌山県	有	1	
鳥取県			
島根県			
岡山県	有	1	
広島県	有	1	
山口県	有	1	
徳島県	有	2	
香川県	有	2	
愛媛県	有	1	
高知県			
福岡県	有	2	
佐賀県	有	2	
長崎県	有	1	
熊本県			
大分県			
宮崎県	有	1	
鹿児島県	有	1	
沖縄県	有	1	
<b>計</b>	<b>34</b>	<b>47</b>	

- ・登録アカウント詳細については日本陸連にお問合せください。
- ・システム使用マニュアルが必要な場合、別途お送りいたします。





公認スポーツ指導者管理システムアカウント申請 <様式3>

1. 団体情報

団体名

様式 3

2. 新規アカウント発行者情報(都道府県体育・スポーツ協会、中央競技団体)

	担当者の団体	氏名(姓)	氏名(名)	担当者メールアドレス
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

3. 新規アカウント発行者情報(都道府県競技団体) ※競技団体のみご記入ください。

	担当者の団体	氏名(姓)	氏名(名)	担当者メールアドレス
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

**2020年度 "日清食品カップ"都道府県小学生陸上競技交流大会  
開催一覧**

資料12

陸協名	開催日	会場	出場予定者数	備考
北海道	開催無し		0	
青森	7/18、19、23、24	新青森県総合運動公園陸上競技場	800	
岩手	7/12(日)	北上総合運動公園陸上競技場	800	
宮城	10/31(土)	岩沼市陸上競技場	580	
秋田	開催無し		0	
山形	10/3(土)	山形県あかねヶ丘陸上競技場	200	当初予定(8/15)から日程変更
福島	開催無し		0	
茨城	開催無し		0	
栃木	開催無し		0	
群馬	10/31(土)	正田醤油スタジアム群馬	800	
埼玉	11/28(土)	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場	580	
千葉	10/18(日)	千葉県総合スポーツセンターメイン競技場	1,000	
東京	9/21(月)	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場	686	
神奈川	10/3(土)	ShonanBMWスタジアム平塚陸上競技場	850	
山梨	8/10(月)	山梨中銀スタジアム	500	
新潟	10/18(日)	新潟市陸上競技場	800	
長野	開催無し		0	
富山	中止		0	予定していたが(10/11)中止
石川	10/25(日)	石川県西部緑地公園陸上競技場	400	
福井	10/18(日)	9.98スタジアム(福井県営陸上競技場)	600	
静岡	11/15(日)	静岡県草薙総合運動場陸上競技場	1,000	
愛知	11/3(火)	パロマ瑞穂陸上競技場	900	
三重	9/13(日)	三重交通グループスポーツの杜 伊勢 三重県営総合競技場	1,200	
岐阜	9/27(日)	大垣市浅中公園陸上競技場	521	
滋賀	開催無し		0	
京都	開催無し		0	
大阪	10/25(日)	万博記念競技場	600	
兵庫	10/18(日)	神戸ユニバー記念競技場	400	
奈良	10/18(日)	奈良市鴻ノ池陸上競技場	350	
和歌山	9/13(日)	紀三井寺公園陸上競技場	1,000	
鳥取	開催無し		0	
島根	開催無し		0	
岡山	開催無し		0	
広島	9/21(月)	広島県総合グランド陸上競技場(広島スタジアム)	800	
山口	9/20(日)	維新みらいふスタジアム	640	
香川	11/14(土)	Pikaraスタジアム(香川県立丸亀競技場)	800	
徳島	11/8(日)	ワークスツップ陸上競技場(徳島市陸上競技場)	300	
愛媛	7/23(木)	愛媛県総合運動公園エンジニアスタジアム	500	
高知	10/11(日)	高知県立春野総合運動公園陸上競技場	700	
福岡	10/18(日)	福岡市博多の森陸上競技場	1,200	
佐賀	8/9(日)	SAGAサガサンライズパーク陸上競技場	500	
長崎	中止	トランスコスモススタジアム長崎(長崎県立総合運動公園陸上競技場)	900	予定していたが(8/8)中止
熊本	8/8(土)	県民総合運動公園陸上競技場(えがお健康スタジアム)	800	
大分	11/3(火)	大分市営陸上競技場	500	
宮崎	8/30(日)	宮崎市生目の杜運動公園陸上競技場	660	
鹿児島	中止	鴨池補助競技場	1,200	予定していたが(7/12)中止
沖縄	中止	沖縄県総合運動公園陸上競技場	1,150	予定していたが(8/10)延期、中止

# “日清食品カップ” 第37回全国小学生陸上競技交流大会 開催要項(案)

## ※新型コロナウイルス感染症等の対応策について

日本陸上競技連盟主催大会では、「陸上競技活動再開についてのガイダンス」に準拠し競技会運営を行います。ガイダンス最新版は、本連盟 HP (URL : <https://www.jaaf.or.jp/on-your-marks/>) に掲載をしておりますので、大会参加者の皆様は、必ず事前にお目通しいただき、感染症対策を徹底したうえでのご参加をお願い致します。

また、今後、新型コロナウイルス感染症による社会状況やガイダンスの更新にあたり、大会要項の変更、大会の中止または延期等の可能性がございます。予めご了承ください。

## 開催趣旨

近年、全国的に児童の体位向上は著しいものがありますが、それと平行して基礎体力の向上が望まれているところであります。一方、多くのスポーツが低年齢者層に普及しつつあり、スポーツ関係者としては誠に喜ばしいかぎりであります。

そうしたなかで、各スポーツの指導者からは、小学生の基礎体力の向上とともに、あらゆるスポーツの基本である「走る」「跳ぶ」「投げる」ことの正しい指導が強く望まれております。

そこで日本陸上競技連盟では、小学校高学年の児童を対象に陸上競技の基本技術の習得を目的としての競技会を開催いたします。また、大会を通じてグループ生活の中でのよい友達づくりやマナーの涵養、陸上競技を通しての基礎体力の養成を図ります。本交流大会が、小学生のみなさんが生涯を通してスポーツに親しんでもらえるきっかけとなるよう願って開催いたします。

上記の趣旨を十分に配慮しながら、以下の開催要項に従い第37回大会を開催いたします。

## 1. 開催要項

- |       |   |
|-------|---|
| [大会名] | “日清食品カップ” 第37回全国小学生陸上競技交流大会<br>The 37th NISSIN CUP Elementary School Athletics Festival   |
| [目的]  | 交流大会を通して、友達との良い関係づくりや、集団生活およびスポーツ活動におけるマナーの涵養を図る<br>あらゆるスポーツの基本とされる陸上競技技能の習得を図る<br>わが国スポーツ界の底辺拡大を図り、小学生の健全なる心身育成の一端とする<br>小学生を指導する陸上競技指導者の研鑽を図る |
| [主催]  | 公益財団法人日本陸上競技連盟  |
| [後援]  | スポーツ庁 横浜市 公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団<br>公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団 読売新聞社 ※以上全て予定   |
| [主管]  | 一般財団法人神奈川陸上競技協会   |
| [協賛]  | 日清食品ホールディングス株式会社  |
| [協力]  | アシックスジャパン株式会社 株式会社ニシ・スポーツ ミズノ株式会社 ※以上全て予定   |

- [期 日] 2021年9月18日(土)・19日(日)・20日(月・祝)の3日間
- [会 場] 神奈川県横浜市・日産スタジアム  
〒222-0036 横浜市港北区小机町 3300 TEL 045-477-5000
- [参加者] 小学校5・6年生に該当する年齢で、各都道府県での選考会を経て選ばれた  
代表選手18名と指導者4名とする

## 2. 選手・指導者日程(予定)

9月18日(土)	9月19日(日)	9月20日(月)
受付	開会式	フレンドシップパーティー
フリー練習 カップヌードルミュージアム 横浜見学	競技会	終了・解散
監督会議・指導者研修会		

## 3. 競技会要項

(1) 種目および参加人員 \*各都道府県は、次の範囲で選手団を編成する。

実施種目		人数	男女	種目数
5年生100m	男/女	2	各1	2
6年生100m	男/女	2	各1	2
コンバインドA:80mハードル・走高跳	男/女	4	各2	2
コンバインドB:走幅跳・ジャベリックボール投	男/女	4	各2	2
男女混合4x100mリレー(ミックスリレー)	混合	6	各3	1
選手合計		18		9
監督及び指導者		4		
合計		22		

※支援コーチ(自費参加):4人以内

(2) 全国大会への参加資格ならびに条件

- ①選手は小学校5・6年生の年齢に該当する児童であること。  
小学5年生種目:2010年4月2日~2011年4月1日の間に生まれた者  
小学6年生種目:2009年4月2日~2010年4月1日の間に生まれた者
- ②監督・指導者は都道府県陸上競技協会が推薦する者で、以下の条件を満たしていること。  
◇日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ3・コーチ4(JAAF公認コーチ)  
又は、日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ1・コーチ2(JAAF公認ジュニアコーチ)の有資格者  
◇監督・指導者のうち必ず1名は女性の有資格者  
◇申込時、必ず日本スポーツ協会登録番号(7桁の数字)の記載が必要
- ③選手、監督・指導者ともに、本要項内の全日程(3日間)に必ず参加すること。
- ④選手の選考は本要項の記載内容に沿って行うこと。
- ⑤リレーチームの編成は、各都道府県での最終選考会に参加した時点でのリレーチームであり、大会主催者の承認なしに、メンバー変更等は認められない。また、全国大会は6名でのエントリーが可能であり(編成にあたっては、男女3名ずつとする)、最終選考会にできるだけ6名でのエントリーが望ましい。最終選考後の追加エント

リーは認められない。

- ⑥リレーメンバーのうち、1名でも他種目に回った場合、そのリレーチームは全国大会への出場資格を失う。
- ⑦同一人が2種目を兼ねて出場することはできない（コンバインドA・B、リレーも1種目とする）。
- ⑧居住都道府県と異なる都道府県でのチーム所属は可能とする。ただし、1人1所属とし、複数チームへの所属は認めない。

### （3）選考会

- ①各都道府県陸上競技協会による選考会（最終選考会）を経た後にリレーチームおよび単独種目・コンバインド種目の出場選手を選考する。
- ②選考会への出場については、1人1都道府県とする。複数都道府県での出場は認めない。

### （4）競技規則

2021年度日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、児童（小学生）である年齢を考慮した教育的配慮の元に競技を進行する。

## 4. 研修・交流会

47都道府県から代表として参加する小学生は、日程表に定められた研修会・交流会に参加する。

## 5. 申込方法

各都道府県陸上競技協会による最終選考会終了後、1週間以内に下記の手順で大会事務局あてに申込みをする。

※最終選考会の開催日が申込締切間近の場合、終了後ただちに申込みを行うこと。

最終の申込締切については下記のとおりとし、原則として、申込締切を過ぎた申込みは認めない。

### （手順1）Eメールにて参加申込書データの提出

「指導者・選手申込書」の必要事項を明記し、2021年8月13日（金）までにデータを下記のエントリー・輸送事務局へ必ずEメールの添付ファイルで提出する。

※8月14日（土）または15日（日）に最終選考会が終了する都道府県に限っては、8月16日（月）の提出を可とする。

### （手順2）Eメールにて「大会参加同意書」、「健康診断書」の提出

2021年8月13日（金）まで（上記※事項参照）に、「大会参加同意書」、「健康診断書」のデータを下記のエントリー・輸送事務局へEメールの添付ファイルで提出する。

※原本は、各チームで大会終了時まで保管すること。

※大会参加同意書内<大会規約>2に該当する場合は、「健康診断書」の提出が必要。

**申込先 Eメールアドレス： nissincup@jaaf.or.jp**

**※送信の際、件名に「〇〇都道府県・第37回小学生陸上申込書」と明記すること。**

## 6. 宿泊・交通機関

選手団は、主催者が定めた交通機関で9月18日（土）の指定された時間までに集合し、解散まで主催者が定めた宿舎に宿泊する。

## 7. 個人情報の取り扱いについて

①主催者は、個人情報保護に関する法律および関連法令等を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づいて個人情報を取り扱う。

なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

②本大会はテレビ放送およびインターネットで動画配信を行うことがある。

③本大会の映像・動画・画像は主催者の許可なく第三者がこれを使用することを禁止する。

※インターネット上において動画や画像を配信することを含む。

④競技場内での写真・ビデオ等の撮影について

本大会主催者より各選手団に50枚のリボンを配布する。リボンをつけていない者の撮影は禁止とする。競技場内で撮影する場合は、リボンが後ろから確認できる位置（左肩）につけること。リボンが確認できない場合、警備員もしくは大会関係者よりお声掛けし、撮影データの削除を行う場合がある。

⑤映像・動画・画像の二次使用について

本大会主催者が認めた報道機関や大会の協賛・後援の各団体が撮影した大会の映像・動画・画像・記事・個人情報等を、主催者および主催者が認めた第三者が大会運営および宣伝等の目的で、大会ポスター・プログラム・パンフレット・大会報告等への使用、およびテレビ・ラジオ・新聞・雑誌・SNS・ホームページ等の媒体に掲載することがある。

## 8. その他注意事項

①競技方法、競技者注意事項等については別途お知らせする。

②本大会は新型コロナウイルス感染症の対応として日本陸上競技連盟「陸上競技活動再開についてのガイダンス」に準拠し行う。

③競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者にて行うが、以後の責任は負わない。

④主催者および後援、主管、協賛、協力の各団体は、競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

⑤主催者として大会期間中、傷害保険補償に加入する。なお、新型コロナウイルス感染症は補償の対象外となる。

※大会参加中に負傷した場合に限る。

※移動時に傷害保険補償を適用する事象が起きた場合は、主催者（大会事務局）が用意した交通手段を利用した場合に限る。

⑥新型コロナウイルス感染症等の影響によって、大会が中止、中断または延期になることがある。

⑦新型コロナウイルス感染症等の影響によって、大会要項を変更することがある。

⑧新型コロナウイルス感染症等の影響によって、観戦者の入場に制限を行うことがある。

以上

## 加盟団体 小学生登録 調査結果

集計

小学生登録の実施	小学生登録人数	登録開始学年	小学生登録費				
実施している。(運用している。)	21	2000人以上	2	1年生以上	11	¥1000~	1
実施していないが、検討している。	10	1500人以上、2000人以下	4	2年生以上	1	¥700~¥1000	2
実施していないし、予定もない。	16	1000人以上、1500人以下	7	3年生以上	3	¥500~¥700	5
		500人以上、1000人以下	4	4年生以上	6	¥300~¥500	7
		500人以下	2	5年生以上	0	~¥300	6
				6年生以上	0	登録料なし	7

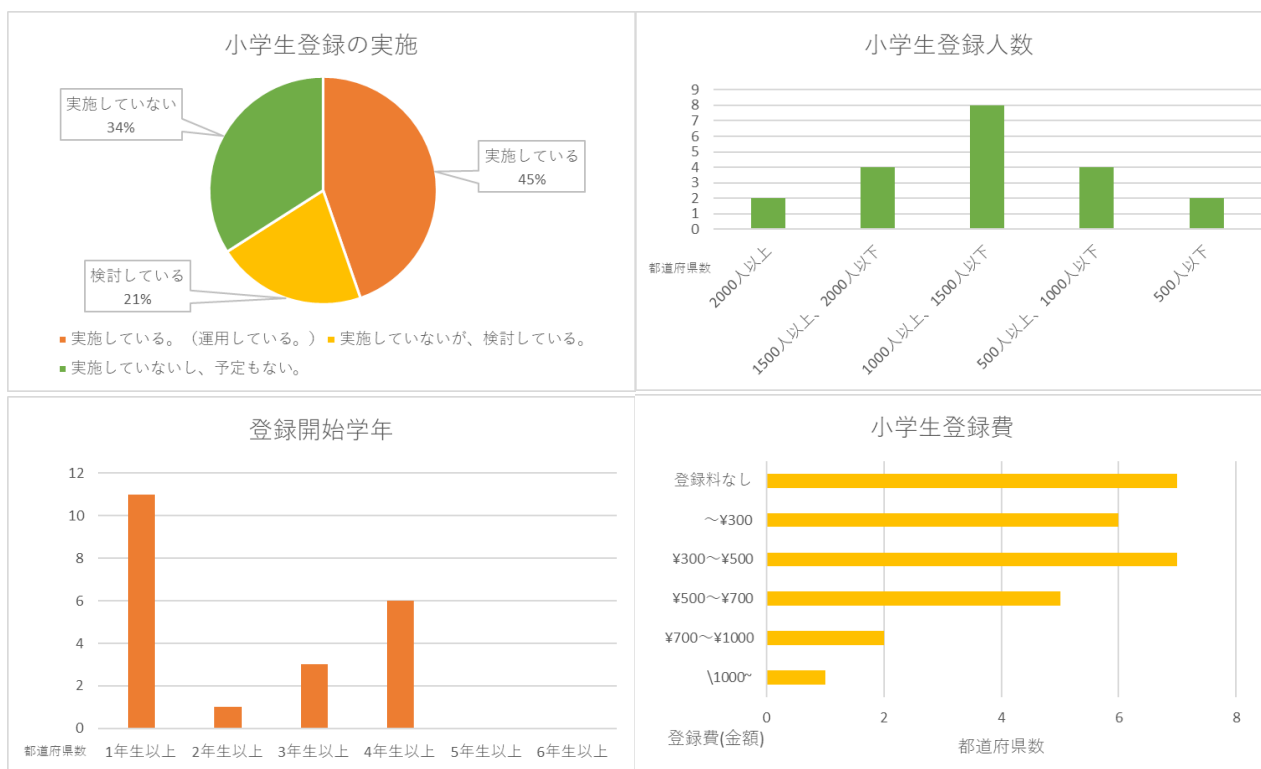
都道府県回答

都道府県	小学生登録を実施しているか	小学生の登録人数	小学校何年生から登録か	小学生登録費
1 北海道	実施していないし、予定もない。			
2 青森	実施している。(運用している。)		4年生以上	500
3 岩手	実施していないし、予定もない。			
4 宮城	実施していないが、検討している。			
5 秋田	実施していないし、予定もない。			
6 山形	実施していないが、検討している。			
7 福島	実施していないし、予定もない。			
8 茨城	実施していないし、予定もない。			
9 栃木	実施していないし、予定もない。			
10 群馬	実施していないし、予定もない。			
11 埼玉	実施している。(運用している。)	800	4年生以上	300
12 千葉	実施している。(運用している。)	1600	4年生以上	300
13 東京	実施している。(運用している。)	1763	1年生以上	300
14 神奈川	実施していないし、予定もない。			
15 山梨	実施している。(運用している。)	400	1年生以上	0
16 新潟	実施していないし、予定もない。			
17 長野	実施していないが、検討している。			
18 富山	実施していないが、検討している。			
19 石川	実施していないが、検討している。			
20 福井	実施している。(運用している。)	626	3年生以上	600
21 静岡	実施している。(運用している。)	不明	1年生以上	0
22 愛知	実施している。(運用している。)	1668	4年生以上	700
23 三重	実施している。(運用している。)	2068	1年生以上	0
24 岐阜	実施している。(運用している。)	1511	2年生以上	900
25 滋賀	実施している。(運用している。)	1100	3年生以上	100
26 京都	実施していないが、検討している。			
27 大阪	実施していないが、検討している。			
28 兵庫	実施している。(運用している。)	1267	4年生以上	0
29 奈良	実施していないし、予定もない。			
30 和歌山	実施していないが、検討している。			
31 鳥取	実施していないし、予定もない。			
32 島根	実施していないし、予定もない。			
33 岡山	実施していないし、予定もない。			
34 広島	実施している。(運用している。)	2030	1年生以上	0
35 山口	実施している。(運用している。)	1300	1年生以上	200
36 香川	実施していないし、予定もない。			
37 徳島	実施している。(運用している。)	365	1年生以上	500
38 愛媛	実施していないし、予定もない。			
39 高知	実施している。(運用している。)	600	1年生以上	500
40 福岡	実施している。(運用している。)	1000	1年生以上	0
41 佐賀	実施していないが、検討している。			
42 長崎	実施している。(運用している。)	1000	1年生以上	450
43 熊本	実施していないが、検討している。			
44 大分	実施している。(運用している。)	705	3年生以上	0
45 宮崎	実施している。(運用している。)	1075	4年生以上	5000
46 鹿児島	実施していないし、予定もない。			
47 沖縄	実施している。(運用している。)	1000	1年生以上	150

## 小学生登録について 各都道府県の現状

## 【加盟団体への調査結果報告】

小学生登録の実施		小学生登録人数		登録開始学年		小学生登録費	
実施している。(運用している。)	21	2000人以上	2	1年生以上	11	¥1000~	1
実施していないが、検討している。	10	1500人以上、2000人以下	4	2年生以上	1	¥700~¥1000	2
実施していないし、予定もない。	16	1000人以上、1500人以下	7	3年生以上	3	¥500~¥700	5
		500人以上、1000人以下	4	4年生以上	6	¥300~¥500	7
		500人以下	2	5年生以上	0	~¥300	6
				6年生以上	0	登録料なし	7



## 【各都道府県からの意見、現状/課題】

● 実施している都道府県

## ➤ 活用方法

- ◇ 地区大会でも活用し、全県下の記録管理にも生かされている。
- ◇ ナンバーを振るための登録にしている。
- ◇ 取り組みとしては、地区が分かる様にナンバー割り振りをしていることと男女が分かる様に男子と女子で色の違うナンバーにしている。
- ◇ クラブにはクラブナンバーが与えられ、クラブナンバーのあとに個人ナンバーを付けて一覧表にして登録します。
- ◇ 現在、ナンバー登録をしており、登録選手のみ県レベルの大会に出場ができるようにしている
- ◇ 大会における氏名管理やプロ作成時の情報整理ができる。



➤ 課題

- ◇ 中高校のように部活動単位ではないので掌握したり、学校やクラブチームによって事情が様々で発信した情報が伝わりづらい。
- ◇ 登録費用について課題がある。
- ◇ 登録はさせるが、競技会が少ない。
- ◇ 中体連、高体連のような学校単位での組織でないため自由に組織をつくれる反面取りまとめに苦慮している。
- ◇ 業務担当者の確保。
- ◇ アスリートビブス代のみで運営していますが、情報処理等は他の大会と変わらないので、登録制度にしてもらえるとありがたいです。
- ◇ 陸上競技未経験の子供や他の競技を行っている子供たちが競技会に参加しづらくなっていることや少人数での参加・登録が少ないことがあげられます。
- ◇ 小学生の普及育成事業を運営するうえで、大会運営などコロナ感染予防対策を講ずる必要があるため、現状の登録費（600円）では事業運営の継続は困難な状況である。
- ◇ 中・高体連のような学校単位の組織でないため自由に組織を作る反面取りまとめに苦慮している。

➤ その他 現状

- ◇ 個人登録では無く、クラブ登録 2000円としている。
- ◇ 登録料は1クラブ 5000円です。平成7年から行っています。
- ◇ クラブ数の急激な増加により、クラブの把握ができにくくなったことや、クラブ間での選手の引き抜きや、全国大会予選に合わせた「にわかクラブ」の出現等を受け登録制を開始した。
- ◇ 近年、小学校単位での参加はほとんどありません。
- ◇ 来年度から登録料は1000円に値上げする予定。
- ◇ 基本は5名以上のクラブ登録で実施していますが、全国小学生交流陸上協大会の県予選会は個人でも参加できるので個人登録の希望も増えている。
- ◇ 年間に数回、練習会や大会以外に登録団体の連絡会議を行っています。
- ◇ 無料で登録をしているが、日本陸連が登録料を考えているなら、それに合わせたい。
- ◇ 登録は、4月に陸協から登録用紙を各チームに送り登録してもらっている。
- ◇ アスリートビブス代のみで費用で運営している。

➤ 意見

- ◇ 地域によって課題は様々あると思いますが、他の競技のように小学生期から登録制にし、トップ選手までの一貫指導やピラミッド体制のためにも、陸連での登録制は必要ではないかと思います。
- ◇ 登録制度ができれば情報処理費用等が助かります。

● 実施検討中の都道府県

➤ 現状・課題

- ◇ 小学校名での団体および個人登録に対する相互理解、周知徹底が課題です。
- ◇ 学校体育の一環としての活動と、クラブチームとしての活動が別個に混在している。
- ◇ 競技力の高い小学生ほどクラブ所属の割合が高いです。しかしながら、全国大会の県内予選の参加は、まだまだ小学校単位の割合が高いです。
- ◇ 一つの大会にのみ参加する小学生も多く、そういった小学生が登録してもらうことについて

てどのように考えるかが登録制度導入のポイントになっています。

- ◇ 登録制度導入にあたり、登録システムを構築したいが、日本陸連の小学生登録制度をいかにされるかで、動きも変わってきます。
- ◇ 規約等が未整備であり、細かい定め調整が必要である。
- ◇ 2021年度からのクラブチーム所属者の登録を検討している。
- ◇ クラブチームと小学校単位での登録・大会エントリーの整理。
- ◇ 登録制度の必要性は感じているが、事務局において登録事務作業やデータ管理体制がとれるどうかの課題がある。
- ◇ 登録料の課題がある。

➤ 意見

- ◇ 陸連からのトップダウン（今回の登録費ように）がないと、進まないと考える。
- ◇ 全国大会に繋がる、県大会には学校単位での出場が多く、全参加者の登録制は不可能である。
- ◇ 登録をする事の必要性、必要価値、登録費金額の全国での傾向を知りたい。
- ◇ 小学生を登録制にすると競技会への参加者数が減数してしまうのでは。
- ◇ 小学生からの登録制にすることで、陸上競技の敷居が高くなり小学生が陸上を始めようとする芽を摘んでしまうのでは。

● 実施していない都道府県

➤ 現状・課題

- ◇ 今後検討していく。
- ◇ 小学生の登録はしていないが、基本は陸協登録団体の活動等に参加している児童を対象に大会、行事等を実施している。
- ◇ 以前よりチーム(団体)単位では登録しているが、個人名としての登録は実施していない。
- ◇ 県陸協とは別に、少年少女陸上競技普及委員会で、小学生チーム加盟制や選手登録制度としています。年度毎の管理と処理が大変で今後は改善していきたいです。
- ◇ 県内のほとんどの小学校には陸上部は存在しない。各大会出場は各学校で選手を選び出場している。登録については、難しいと思われる。
- ◇ 他競技との掛け持ちをしている児童も多く、二重の登録はさせにくい。
- ◇ 小学校単位で取り組む場合も多く、クラブとの二重登録になる。
- ◇ 競技大会へのエントリーを簡略化し、普及を図るため、本県では小学生の登録を行っていない。
- ◇ 競技会へのエントリーを簡略化し、普及を図るためあえて登録を実施していない。
- ◇ また、小学生対象の陸上競技クラブが充実しておらず、個人参加も含めて、継続的に陸上競技を楽しむ選手や保護者の掘り起こしをしたいと考えている。

➤ 意見

- ◇ 登録制にすることで限られた子しか大会出場ができなくなり、門戸が狭くなる。
- ◇ 本県の競技会は多くの児童が学校から参加していることが多く、他競技に取り組んでいるものも参加することが多い。したがって、陸上競技への登録で縛ると、競技会への参加者が減ったり、参加校が減ったりということが確実に起こる。普及の意味からも登録制度がデメリットとなることが確実視される。
- ◇ 陸上競技外の子供達が大会に出場できなくなってしまう。

各加盟団体 ご担当者様

**2021 年度日本陸連指導者養成委員会事業  
開催可否について（ご検討のお願い）**

■2021 年度事業実施にあたり、下記についてご検討、ご回答をお願い申し上げます。

1. JAAF 公認コーチ受講者の推薦

※各都道府県 1 名までの推薦をお願いします。

※2021 年 4 月 1 日現在、満 27 歳以上で、原則、コーチ I を保有している方を推薦してください。

2. JAAF 公認ジュニアコーチ養成講習会 開催可否

※開催は、7 月以降、3 月上旬までの期間でご検討ください。

※上記以外の日程を希望される場合、提出期限内に別途ご相談ください。

※開催希望の事業を全て実施できない場合があります。予めご了承ください。

上記 1・2 について 2021 年 2 月 10 日（水） までに、必ず下記調査フォーム(2 件)へご回答ください。

※推薦/開催希望の有無に関わらず全都道府県とも回答をお願い致します。

①JAAF 公認コーチ受講者推薦

▼入力フォーム：

<https://forms.gle/dqpRiUkTnLkD7YYy5>



②JAAF 公認ジュニアコーチ養成講習会 開催希望

▼入力フォーム：

<https://forms.gle/wHFxmZWe1uz1pPhL6>



※回答期限：2021 年 2 月 10 日（水）

■下記事業については、日本陸連より改めて連絡を致します。

▶U10、U13、U16 指導者講習会 兼 みんな集まれ!!陸上 について

※2021 年 2 月中旬までに改めて連絡致します。

▶指導者養成担当者（エデュケーター）研修会について

※詳細決定次第、日本陸連より連絡致します。

■更新研修は各都道府県で実施計画後、日本陸連にご連絡ください。（各都道府県で年 1 回開催）

本件に関するお問い合わせ： 日本陸上競技連盟事務局 田中、古田、磯貝  
Mail: coach@jaaf.or.jp Tel: 050-1746-8410

JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会

都道府県別開催状況

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 余て中止
	受講人数	129	248	320	631	835	623	513	611	-
NO	会場数	4	10	12	14	19	15	14	16(中止は含まない)	開催予定:13
1	北海道	13	11	15	14		39		29 (27 : 2)	
2	青森							34 (32 : 2)	22 (16 : 6)	
3	岩手		21				22		14 (8 : 6)	
4	宮城				26		14		29 (24 : 5)	
5	秋田					29				
6	山形				39	22			23 (19 : 4)	
7	福島	30	36	31	14	16		17 (15 : 2)		
8	茨城								33 (23 : 10)	○
9	栃木									
10	群馬									
11	埼玉		30	17	28	50	29	23 (21 : 2)		
12	千葉									
13	東京 1	41		64	102	85	102	102 (73 : 29)	96 (75 : 21)	○
13	東京 2					92	79	85 (76 : 9)	60 (46 : 14)	○
14	神奈川				46					
15	山梨		27				30			
16	新潟			26			19	15 (10 : 5)	18 (15 : 3)	○
17	長野								47 (39 : 8)	○
18	富山				39				23 (17 : 6)	
19	石川					41				○
20	福井		28				30			
21	静岡			16		41				
22	愛知									
23	三重			46	100		49		58 (48 : 10)	
24	岐阜									
25	滋賀					26		43 (33 : 10)		
26	京都									
27	大阪			21	89	89	92	77 (57 : 20)	72 (51 : 21)	○
28	兵庫			14		34		27 (20 : 7)		○
29	奈良									
30	和歌山		12					10 (7 : 3)		
31	鳥取				22					
32	島根									
33	岡山									
34	広島	45	41	24	18	33	18	19 (14 : 5)	19 (13 : 6)	○
35	山口					40	45	29 (22 : 7)	28 (27 : 1)	○
36	香川				47	33				
37	徳島						22	5 (4 : 1)		
38	愛媛		27	20						
39	高知								0(申込数不足(12)のため中止)	○
40	福岡					63		27 (24 : 3)		
41	佐賀					38				
42	長崎					44				
43	熊本									
44	大分					32				○
45	宮崎			26			33			
46	鹿児島				47				40 (32 : 8)	○
47	沖縄		15			27				

人数(男:女)

指導者講習会  
都道府県別開催状況

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 全て中止
NO	会場	4	5	4	5	5	7	8	7	開催予定:3
1	北海道									
2	青森		11/2							
3	岩手									
4	宮城									
5	秋田									
6	山形						1/27			
7	福島									
8	茨城						11/19			
9	栃木									
10	群馬				1/17					
11	埼玉									
12	千葉		10/17							
13	東京	11/3	11/4	2/1			1/14	8/27	U13(8/28) U16(2/9)	
14	神奈川									
15	山梨			2/21	2/20			8/7	U16(2/15)	
16	新潟						11/25	6/1	U13(8/23)	
17	長野			11/29			12/10	12/1		
18	富山									
19	石川									
20	福井									
21	静岡									
22	愛知					1/28				
23	三重									
24	岐阜					2/11				
25	滋賀									
26	京都									
27	大阪									
28	兵庫							3/3		
29	奈良									
30	和歌山									
31	鳥取	3/2								
32	島根					11/26				
33	岡山									
34	広島						6/6	9/8		
35	山口									
36	香川			2/8				3/17		
37	徳島					12/10				U13
38	愛媛		11/9							
39	高知					11/20		10/21		
40	福岡	1/14			1/31					U13
41	佐賀				3/13				U16(12/1)	
42	長崎								U16(11/30)	
43	熊本		2/22							
44	大分									
45	宮崎				11/23					U13
46	鹿児島	2/10					12/2			
47	沖縄								U13(8/31)	

アスリートクリニック

都道府県別開催状況

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 全て中止
NO	会場数	30	18	18	16	19	20	18	18	開催予定:9
1	北海道	U12・U15・U18	U13・U16		U13・U16	U16	U13	U16(92名)	U13(28名)	
2	青森		U16		U13	U13				U16
3	岩手			U16						
4	宮城	U18			U16		U13	U13 (29名)		U10
5	秋田	U12				U16				
6	山形		U13			U16	U13	U16	U16 (43名)	(U10希望)
7	福島	U15		U13			U16			
8	茨城	U15		U16	U13	U13	U13		U13 (33名)	
9	栃木	U18	U16		U16					U16 (U13希望)
10	群馬	U18		U16						
11	埼玉									
12	千葉									(U16/13/10希望)
13	東京		U16	U13		U13	U16	U13(36名)		(U16希望)
14	神奈川	U12					U13	U13 (73名)	U13(65名) U16(31名)	(U13/10希望)
15	山梨	U15				U16				
16	新潟			U16	U13		U13	U16 (62名)	U13(27名) U16(51名)	
17	長野	U15	U13					U13・U16		U10
18	富山	U12			U16	U13				U13
19	石川	U15	U13			U16	U13			
20	福井	U18	U16	U13				U13(47名)		
21	静岡			U16	U13				U13 (58名)	
22	愛知				U16					
23	三重	U18	U16	U13						
24	岐阜	U12								
25	滋賀	U18	U16	U13	U13					
26	京都			U16			U13			U13
27	大阪									
28	兵庫						U13		U13(39名)	
29	奈良	U12								
30	和歌山	U15	U13							
31	鳥取			U16						
32	島根	U12								
33	岡山		U13							
34	広島	U18	U16		U13・U16	U13	U16	U16(56名)		
35	山口	U15		U13		U16	U13・U16	U16	U13 (28名) U16 (コロナ中止)	(U16/13希望)
36	香川	U12	U16		U13	U13	U13	U13 (69名)	U13(63名) U16(40名)	U10 (U13希望)
37	徳島		U13		U16		U16	U16	U16(52名)	(U16希望)
38	愛媛	U15		U13		U16		U13		
39	高知	U18		U16		U16	U13	U13	U13(23名)	
40	福岡						U13	U16		U10
41	佐賀	U15		U16		U16				
42	長崎	U18								
43	熊本				U13	U16	U13	U16 (39名)	U13(55名)	(U16希望)
44	大分	U18						U13 (138名)		U10
45	宮崎	U18	U13			U13				(U16希望)
46	鹿児島	U12	U16	U13	U16	U13	U16			
47	沖縄	U12	U16	U16	U16	U16	U13・U16	U13 (54名) U16	U13(31名) U16(52名)	(U16/13希望)

2019 年全国普及育成担当者会議

<都道府県陸協における指導者養成に関して>

2019 年 12 月 22 日

味の素ナショナルトレーニングセンター研修室

\*8 グループ (1 グループ 6 名) に分かれ、下記テーマについて議論・意見交換。  
15 分間のディスカッションと、各グループ 1 分間の発表を行なった。

<テーマ> 陸上競技の全ての指導者が資格をもって活動するために  
～都道府県陸協と日本陸連ができること～

■1 班： 北海道・栃木・長野・滋賀・岡山・佐賀

指導者資格を取得するためのハードル (費用や時間等) が高い。これを下げる手立てを考えるべき。指導実績を加味することや、公認審判員など大会運営に関わることをポイント化するなどしてハードルを下げ、若い人も取り込み、資格を取りやすくしたらよいのではないか。

■2 班： 青森・群馬・富山・京都・広島・長崎

資格取得者のメリット、特典付与が重要。ジュニアコーチ向けの動画を作成、配信し、資格者のみが学べるなどで資格者にメリットを与えるなど考えたらよいのではないか。  
また、教育系大学で資格がとれるような仕組みを作る。

■3 班： 岩手・埼玉・石川・大阪・山口・熊本

資格取得までのハードルを緩和させること。特に小学生指導者やランニング指導者などに対しての資格を取りやすくする。  
また、資格をとってからの活躍の場を広げることも重要。活用事例を挙げて拡げていく。

■4 班： 宮城・千葉・福井・兵庫・香川・大分

有資格のメリットと資格取得の困難さが合っていない。各都道府県ごとの事情もあるので、それを反映させられるよう、ブロック (地域) 単位での意見交換や情報共有を行ない、改善策などを考えていければ良い。

■5 班： 秋田・東京・静岡・奈良・徳島・宮崎

保護者の関わり (保護者を巻き込むこと) が大事。  
資格取得に関しては 1 日 (1 日程度) でとれる制度があれば資格者が増える。資格取得と登録制を整備し、指導者のレベルアップが図れると良い。

■6班： 山形・神奈川・愛知・和歌山・愛媛・鹿児島

資格取得のメリットが必要。

また、費用的な面での補助が必要。

■7班： 福島・山梨・三重・鳥取・高知・沖縄

金銭面の負担が大きい。

学校体育と社会体育、それぞれにおいてライセンスの考え方がある。ライセンス（資格）のみで縛ると熱心な指導者が離れていく可能性もあるのではないか。

■8班： 茨城・新潟・岐阜・島根・福岡・沖縄

指導者には大きく分けて教員と一般の2種類が存在。

大学のカリキュラムや教員免許の中の一部に指導者資格を入れてしまうなどすることで半分が解決する。あと半分が難しい。



指導者の皆さまへ

安全に活動するため再確認をお願いします

# 事故を防ぐ 3つのポイント

大会や練習など陸上競技の活動中に事故が起きてしまう事例があります。安全に陸上競技に取り組み事故を防ぐために、そしてアスリートをはじめ皆が安心して楽しく活動できるよう、指導者の皆さまに再確認をお願いします。

## 指導者



### 活動時は指導者が立ち会う

指導者がいない状況で多くの事故が発生しています。指導者は、安全で危険や無理のない活動ができるよう学び、アスリートの安全確保はもちろん、指導者自身やその場を共有する人々の安全にも気を配ることが重要です。

## 場所



### 場所と用具の確認

- 安全な活動場所の確保と用器具の点検
- 他の団体との連絡・連携

## 時間



### 時間の管理

- 無理のない活動時間の確保
- 天候・気温・明るさ等の確認

定期的に確認を  
お願いします

日本陸上競技連盟「安全対策ガイド」

 <https://www.jaaf.or.jp/rikuren/safety.html>

 活動を行う施設や学校等のルール

 地域や自治体が定めるガイドライン



## 2020年度 全国普及担当者、指導者養成担当者会議 出席者一覧 ※敬称略

&lt;訂正版&gt;

都道府県	出席者①	出席者①の陸協内での役職・担当	出席者②	出席者②陸協での役職・担当
1 北海道	足立 亨	事務局	山村 修	普及委員長
2 青森	三上 朋子	普及育成部長		
3 岩手	山内弘文	普及育成部長		
4 宮城	佐藤 善典	理事・普及育成委員長		
5 秋田	鈴木 拓実	普及委員長		
6 山形	宮内 悟	常務理事	佐藤 義庸	普及委員長
7 福島	菅野 義広	普及育成委員長		
8 茨城	潮田 茂	理事長	柏崎 勝美	普及委員長
9 栃木	小松 光博	普及部長	小高邦夫	普及副部長
10 群馬	中山 晃	普及委員長		
11 埼玉	高橋 俊一	普及委員長		
12 千葉	宮野 篤	普及育成部副部長 U13総括		
13 東京	一瀬 秀和	普及育成部長		
14 神奈川	小出 敏之	強化普及委員会普及部長		
15 山梨	名取 和仁	普及委員会委員長		
16 新潟	五十嵐 陽介	普及部長		
17 長野	篠原 克修	普及強化委員会普及部長	内山 了治	理事長
18 富山	田部 大輔	小学生普及部長		
19 石川	越村 知史	常務 小学生普及部長	安中 貴行	常務 中学生普及部長
20 福井	村田 正行	ジュニア普及委員会 委員長	千秋 直樹	指導者育成委員会 委員長
21 静岡	豊田 博幸	普及委員長	堀之内大	指導者養成委員長・常任理事
22 愛知	谷寄 好美	理事 小学生担当	稲垣 裕	愛知陸協 専務理事
23 三重	山口 泰弘	普及副委員長	三輪 亮介	中体連専門委員長 普及副委員長
24 岐阜	星野 広典	普及委員会 小学生担当		
25 滋賀	鈴木 伸哉	滋賀陸上競技協会普及委員長		
26 京都	三上 真	理事（普及育成）	多田 毅	理事（指導者養成）
27 大阪	島津 勝己	常務理事・強化委員会副委員長	近西 弘行	理事・総務委員会普及部長
28 兵庫	釜江 憲史	普及委員長	高橋 秀知	理事
29 奈良	江島 英宏	普及部副部長 小学生担当		
30 和歌山	山本 宜史	専務理事	武田 祥吾	理事・ジュニア部委員
31 鳥取	新田 明彦	専務理事	福井 和栄	普及部長
32 鳥根	杠 憲司	普及育成部長	吉川 正展	強化部長
33 岡山	池田 国光	常務理事・普及委員長		
34 広島	石川 和明	指導・普及副委員長		
35 山口	山縣 康人	専務理事	藤田 昌彦	普及育成委員長
36 香川	本田 恵	強化副部長（普及）		
37 徳島	竹内 洋	普及育成部長		
38 愛媛	花山 光利	理事・普及委員会U-13担当		
39 高知	三谷 裕之	強化普及委員会 普及担当		
40 福岡	井上 要	普及育成部長		
41 佐賀	羽立 博文	事務局長	松尾 由起子	普及委員長
42 長崎	杉澤 栄治	普及部長	上野 博	指導者育成部長
43 熊本	沢田 修	普及育成部長		
44 大分	櫻井 貢	普及育成部長		
45 宮崎	田爪 隆敏	普及部長		
46 鹿児島	太田 敬介	普及部長		
47 沖縄	小賦 肇	理事・学連担当		

2020

全国普及育成・指導者養成担当者会議

- 議事録
- 質問・意見・回答

## 2020年度 全国普及育成・指導者養成担当者会議

2020年12月11日(金)

&lt; 議事録 &gt; 敬称略

日本陸上競技連盟 指導者養成委員会

1. 日本陸連より	尾縣 貢
	<p>日本陸連では普及育成委員会から指導者養成委員会に委員会名を変更した(2019)。2018年に普及育成と強化の両面から競技者育成指針を策定。これはエビデンスを持って策定されたものであり、これによって競技者育成に大きな変化が生じてきている。そして今回は指導者養成指針がつけられた。これも内容が非常に練り込まれたものであり、競技者育成指針よりも更に大切なものとなる。競技者育成指針策定後と同様に今後様々な動きが出て、変化をしていくので、各都道府県でもこれに沿って進めてほしい。</p>
2. 指導者養成に関して	山本 浩
	<p>「指導者への期待」</p> <p>指導者は陸上競技の屋台骨である。2013年競技者育成プログラム策定時から指導者を陸上競技の中心に据えている。指導者は選手と直接的、間接的に関わり、大変多くの役割を持ち、選手を取り巻く環境の中で多くを求められる。指導者にはやる事が沢山ある。</p> <p>より強化するアクションとして指導者の資格制度に対するアプローチが挙げられる。指導者は各自のバックグラウンドを持っているが、その上に講習等で更に最新の情報を得て活用してほしい(=指導者の資格取得)。</p> <p>指導者資格が求められるわけ。指導者を含むアントラージュの重要性。</p> <p>有資格者は社会の変化に対応し、おかれた現状を認識し、多くの人が同じ情報を持つ。強い力でチームを組んでいくことを目指す。指導者養成委員会はそこに力を注いでいく。</p>
3. 指導者養成指針および指導者資格に関して	
(1) 指導者養成指針 [資料1]	沼澤 秀雄
	<p>指導者養成指針策定の経緯、内容を説明。 指針に関する意見や現場の様子について、山梨/名取和仁さんから発言があった。</p>
	<p>【山梨/名取】素晴らしい内容で、賛成・共感できることが多い。 教職の立場として、子どもたちの健全な育成、社会人を育てる、心と身体を鍛えるということが大切。 学校現場としては、教員の働き方改革、また忙しい中、どのように時間を作るかがポイントとなる。 部活動の指導や外部指導者をどのように依頼するのか、各都道府県が苦勞している部分であり、資格制度で方向性を示す、大事な指針になると思う。 このような観点を広く周知していくこと、広く社会にアピールすることが大事。 指針を広めて、子どもたちの成長につなげられるようにしてもらえればと思っている。</p>
(2) 日本陸連公認指導者資格制度 [資料2・3]	沼澤 秀雄
	<p>日本陸連の指導者制度の概要について。 資料3は今年10月1日現在の都道府県ごとの有資格者数。女性の有資格者数や割合、公認コーチの数など示しているので参考にしてほしい。</p>

(3) 都道府県指導者養成担当者について	陸連/田中悠士郎
	<p>現状、指導者養成担当者が「いる」都道府県が34、「いない」が13。</p> <p>2021年度から全都道府県陸協で指導者養成担当者を置いてほしい（普及育成と兼務の場合もある）。</p> <p>別資料「ロードマップ」（PPT）で日本陸連の今後の指導者養成への取り組みについて説明。</p> <p>（スタートコーチの開始、ジュニアコーチ、公認コーチ、更新研修等の拡充、コーチ養成計画等。事前に寄せられた質問の回答も含む。）</p> <p>担当者の主な役割は以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-陸連及び他の団体との連絡窓口。</li> <li>-指導者養成事業（JAAF主催のジュニアコーチやその他講習会、陸協内での指導者養成事業等）の計画、統括、講師。</li> </ul> <p>既に指導者養成担当者を置いている熊本/沢田修さん、京都/多田毅さんから、現状の指導者養成担当としての活動や陸協内での指導者養成の取り組みなどが話された。また、現状は指導者養成担当者を置いていない石川/越村知史さんからも話をしてもらった。</p>
	<p>【熊本/沢田】公認コーチについては陸協で予算をつけて（年8万円）2名ずつ受講できるようにしている。</p> <p>特に高校の教員がとれるよう優先しているが、現場で力を発揮する前に、異動や管理職へ上がってってしまう人が多く歯がゆい。</p> <p>また、陸協主催の選手合宿（予算200~250万円）では15名ほどの指導者も参加。各都道府県の強化の担当者の話を聞くなどして若手指導者の育成（積極的に指導）をしている。</p> <p>昨年度から小学校の部活動がなくなり、クラブがかなり増えている。クラブは地域の方で指導をしているがコーチングの資格がないので指導がバラバラ、服装や挨拶など教育的な指導が欠けている。整備し、しっかりした道筋を作りたい。</p> <p>中高は教員が中心だが、異動等が悩み。継続的に、県全体、地域全体でやっていきたい。</p>
	<p>【京都/多田】指導者養成担当の役割や活動状況について</p> <p>指導者養成（公認コーチ受講者）の推薦。推薦の原案を理事会に提出している。カテゴリー（小中高など）や種目別で偏らないように推薦している。</p> <p>都道府県で実施する講習会の準備。U13・16等の講習会を積極的に後方支援し、活発化させている。</p> <p>資格者への連絡。有効期間が迫る指導者には連絡をしている。</p> <p>中学校や高校の指導者とつながりが途切れないように意識している。</p> <p>地域別での合宿などの計画や指導者の派遣、種目別合宿の指導者派遣（年度によって種目を決め、例えば棒高跳などの特化）もしている。</p> <p>中学校の教員は多忙で、指導者の講習会に推薦しても学校からの理解が得られず受講できない場合がある。</p>
	<p>【石川/越村】指導者養成としては（役職として）おいていない。</p> <p>小学生では225ほどのクラブがあり、指導者として食べている人は5~6人、あとは皆ボランティアで指導をしている。</p> <p>中学校は学校教育（部活動）の中で行っている。</p> <p>”普及プロジェクト”として小中学校を合併させた。陸協の中でも中高一貫の普及と指導者養成を併せて考えている。</p> <p>普及プロジェクトの中で、小学生に棒高跳を教え、楽しく体験させることなどしており、さらに発展させたい。</p> <p>ジュニアの指導者を増やしていきたいと考え、地元の学生にも（陸上以外の人にも）資格をとってもらいたく、大学と連携して推し進めたい。</p>

<b>4. 委員会事業関連（2020年度事業報告および2021年度事業計画）</b>	
<b>4-1 指導者資格および資格者養成講習会</b>	
<b>(1) JAAF公認コーチ(JSPO公認陸上コーチ3)養成講習会</b> [資料4・5]	桜井智野風
<p>◇2020年度実施状況について 五輪開催予定もあり各都道府県からの推薦1名であった。 コロナにより集合講習は不可となった。可能な限り理論講習をオンライン（eラーニング）として行なっている。実技講習、指導演習等の集合講習は来年度実施予定（開催日未定）。よって今年度受講者は2年かけて講習を修了することになり、2022年10月の資格付与となる。</p> <p>◇2021年度実施計画および都道府県からの受講者推薦について 五輪により2020年度同様に各都道府県からの推薦は1名で理解願いたい。 今年度同様、eラーニング、集合講習、自宅学習で構成する予定（詳細はJSPOと調整・検討中）。 開催要項案に今後変更が生じる可能性がある。 指導者養成指針に沿ったコーチ養成システム再構築に向け、2022年度以降は受講者（枠）を増やす予定。</p>	
<b>(2) JAAFジュニアコーチ（同コーチ1）養成講習会</b> [資料6・7]	桜井智野風
<p>◇2020年度は13会場での開催を予定していたが全て中止。準備された団体にはご迷惑をおかけした。 ◇2021年度の実施計画について 基本カリキュラムは変更していないが今後変更する可能性がある。 免除適用コース承認校在校生の受講料を15000円（共通免除同額）とする。教員免許更新を受講・申請する際の受講料を要項に明記した。 現状未定な部分は決まり次第お知らせする。 2021年度の都道府県での開催は、7月から3月上旬までの間で設定を願いたい。 現行カリキュラムでは、スポーツリーダーも取得できる形となっている。スポーツリーダーの養成は2021年度が最後となる。JSPOが養成を終了した。同レベルの資格としてはコーチングアシスタントがそれにあたる。それに伴い、2022年度からジュニアコーチのカリキュラムが変わる予定。内容、カリキュラムは、JSPOの制度やカリキュラムにあわせつつ、できるだけ受講者の負担を軽減させ、かつしっかり学んでもらえるよう検討する。 新型コロナウイルス感染症対応としては陸連ガイダンスにそって（陸連のガイダンスは随時更新）判断。また、実際に開催が可能かどうか随時確認する。 また、公認コーチ同様に、eラーニングなども含め、講習のやり方を模索する。 指導者養成指針の通り、将来的には全指導者が資格をもつ（コーチとなる）ことになる。よって将来的にはこのジュニアコーチの全都道府県での開催を目指したい（段階的に開催県を増やす）。 ジュニアコーチ受講後、（免除免除申請を行ない登録手続きをして）資格が付与されるまでの流れについて。資料7で確認されたい。</p>	
<b>(3) コーチングクリニック</b> [資料8]	秋元 恵美
<p>今年度、初めてのオンライン（リモート）でのコーチングクリニックを開催する。例年同様、JSPO公認指導者資格の更新研修にも充てている。 申込者は既に定員（100名）に達しており、有資格者向けに追加開催を予定している。 今後も指導者の学びの場としてオンライン講習を取り入れながらコーチングクリニックを行なっていきたい。 2017年・2018年度には、女性指導者のためのコーチングクリニックを行なった。資料3の通り女性の指導者数が少ない現状の中、女性指導者を増やし、支援するために、女性に向けた活動を今後も考えていきたい。 本日の出席者のうち、3名の女性（青森/三上朋子さん、愛知/谷寄好美さん、佐賀/松尾由起子さん）から女性指導者の現状や活躍する環境について発言があった。</p>	

	<p>【佐賀/松尾】佐賀は女性の小学生の指導者（教職員・社会体育）がゼロ人。有資格者の小学生クラブチームの女性指導者は5年前までずっと自分一人であったが、佐賀陸協の協力のもと、現在50ほどのチームで、有資格者を7名まで増やした。女性指導者のコミュニティをつくる（きっかけ作り）など、組織をあげて継続できるサポートを行うよう努力している。</p> <p>また、中学校、高校でも強化との橋渡しができるように心がけている。</p>
	<p>【愛知/谷寄】女性クリニックには2度参加した。指導する側も参加者も女性ということで、実技も講義も参加者と細かいところまで意見し合い、他県女性の活動もたくさん聞くことができ、よいクリニックだった。女性だけのクリニックをぜひ今後も開催してほしい。そして、クリニックだけではなく女性指導者が交流できる場ができれば指導者は増えていくと思う。</p>
	<p>【青森/三上】陸連の説明を聞き、指導者育成はこれからますます必要になってくると感じた。特に中学校が学校の部活から地域社会へ指導の場が移ると、女性の指導者は激減するのではないかと。女性は家庭の中で家族の仕事、子育て、介護などに時間を奪われなかなか外の活動に出て行くことが難しいが、魅力的な活動の場には進んで参加すると思うので、是非魅力的で女性も進んで参加できるような陸上界を作りたい。</p> <p>JAAFコーチングクリニックには是非参加したいが申し込みが締め切りとなった。追加開催を希望します。</p>
<p>(4) 指導者講習会および普及事業</p>	<p style="text-align: right;">岸 政智</p> <p><b>U10/U13/U16 指導者講習会兼みんな集まれ!!陸上遊び/陸上運動/陸上の基本運動</b> [資料9]</p>
	<p>この事業については現在実施の可能性を検討中。実施の有無が決定次第（2月中旬迄に）改めて日本陸連から都道府県陸協および本会議出席者へメールで連絡をする。実施となった場合には、その後、都道府県での開催について検討のうえ、3月中旬に開催希望を出してもらう予定。その場合、10月から3月までの間で開催を願いたい。</p> <p>これまで行ってきた実績を活かして各講義・講習の内容をより良くすることに加えて、今回からの改良点として、子どもたちに学んでもらうためだけでなく指導者向けの講習会として実施する。要項に記載の通り、前日夕方(又は夜)に指導者向けの講習を行い、当日は指導者+子どもたちへのクリニックを行う。ここで学んだ指導者に、各地域、各所属の現場で、より良い、多くの指導や講習会を行なってもらいたい。</p> <p>特にU10（2020年より計画したが実施できなかった）など積極的に行っていきたい。</p>
<p>(5) 全国指導者養成担当者研修会</p>	<p style="text-align: right;">沼澤 秀雄</p> <p>議題3で説明したように2021年度中（12～2月頃）に、各都道府県の指導者養成担当者、またはジュニアコーチ等講習会の講師となる方を対象とした研修会の実施を予定している。具体的な日程や内容、また、集合研修会かオンライン（リモート）での実施かは今後の検討と状況次第。決定次第お知らせする。</p> <p>この研修会は、陸連からの情報伝達や団体間の情報共有だけでなく、各都道府県で指導者養成講習会（ジュニアコーチ・スタートコーチ等）が無理なく開催できるよう、担当者への研修の場として考えている。</p> <p>ジュニアコーチの開催を拡大することや、2022年度からスタートコーチの開始を目指すなど、多くの指導者に学んでもらい、資格取得にチャレンジできるよう、都道府県陸協と協力しながら進めたい。</p>
<p>(6) 資格更新研修について</p>	<p style="text-align: right;">陸連/田中悠士郎</p> <p>[資料10・11]</p>
	<p>都道府県陸協で年に1回以上の更新研修を開催されたい。申請方法等は資料およびHPを参照のこと。</p> <p>指導者養成指針の中でも指導者が「学び続ける」ことの重要性に触れている。</p> <p>オンライン講習の導入や、近隣の都道府県が連動した研修会の開催等、陸協の負担軽減と、指導者が研修を受けやすく、様々な研修の機会を提供できるよう、今後（陸連でも）考えていく。</p> <p>JSPO公認スポーツ指導者管理システムのアカウント未登録の都道府県には申請し、取得されるよう求めたい。それにより資格者登録状況の把握が容易になる。</p>

4-2 小学生関連	(1) “日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流大会 [資料12・13]	岸 政智
◇2020年 都道府県大会報告 開催一覧は資料12の通り（32会場で開催）。 開催大会の開催要項、リザルトを陸連HPに掲載している。また、種目ごとのダイジェスト動画（7～9月開催分、10～11月開催分）を公開した。 全国大会から都道府県大会に形を変えたことで、担当者には多くの負担を掛けた。コロナ感染防止対策や、選手・保護者への対応等、大変な苦労を重ねながら開催されたことに深く感謝する。また、陸連からの各種確認や調査依頼により負担を重ねてしまった。この点に関しては、今後に向けて改善を図りたい。 開催した県のうち、香川/本田恵さん、奈良/江島英宏さんから話を聞く。	◇2021年(第37回)大会について 要項の通り。内容は2020年に予定していたものとほぼ同様。コロナにより変わることもあることをご了承ください。 日程、会場については未定。9月の開催を予定し、会場確保を進めている。⇒その後、9月18日（土）・19日（日）・20日（月・祝）で確定した。大会要項を更新し、別途送付するのでご確認ください。 都道府県選手団の申込は、8月13日（金）を予定しており、それにあわせて都道府県選考会等の予定を立ててほしい。※8月14～15日で選考会を開催する都道府県があれば、そちらについては申込期日の調整をするので事前に知らせてもらいたい。 小学生陸上についての事前質問へ回答。	【香川/本田】運営については、参加人数771名（45団体）。無観客で引率教員と保護者のみ入場許可とし、全国大会と同種目で開催した。県陸協小学生部会（小学校教員）で運営。学校単位での参加を推奨しクラブの競争主義を抑える。 交流大会の2週前に全小学校を対象にした小学生選抜大会（5～6年生が2日間で1500名参加）を開催。コロナのため多数の郡市が開催に難色を示し、教育長への依頼、学校体育会、小体連へ幾度も説明を行い、同意を得た。この大会に準じて交流大会を開催し、スムーズに行えた。 本当にやって良かった。各校で課外活動として陸上練習に取り組み、教員からも好評。9月に開催が決定し、子どもたちに目標ができ、参加の喜びと達成感が生まれた。来場者も例年以上に決まりを遵守した。開催にあたり、日本陸連、日清食品の支援に感謝している。 問題点としては、参加者が注意喚起文書をよく読んでいない、参加選手に伝えられていないという事例があった。コロナ禍が学校の働き方改革を進める契機となり、放課後活動の陸上ができなくなる恐れがある。水泳大会の取り止め、水泳指導の取り止めも多い。陸上の縮小や廃止の可能性も話し合われており、そうなるクラブチームだけの大会となり、出場人数の激減や予算上運営不可能となるなど懸念される。
【奈良/江島】10月18日に大会を開催。奈良には大会ができる競技場が2つしかなく、日清食品カップが始めての大会になったので、コロナ対策が大変だった。 小学生陸上は奈良陸協に属さない団体がやっている。コロナの状況だったので、打ち合わせができずに、要項が複雑になった。 はじめて要項を作り直した。その打ち合わせもできず、ズーム会議もできず、なかなか進まなかった。 チャットなどで代表との打ち合わせを行った。 時間と審判の人員不足によりできない種目があった（コンバインドではなく単独種目で実施）。 即席のトップ③の表彰式をやり好評だった。 子ども達や親のアンケートでも満足度が高く、良かった。 参加チーム等による手作りの大会となった。 その後の2大会でも好記録が続出したが、活動できないチームも多くあった。コロナ禍でも活動できるところとできないところ（指導者が教えられない、子ども達が活動できない）の差（両極端）差があり、危惧されている。		



<p>(2) 小学生登録（調査結果） [資料14]</p>	<p>岸 政智</p>
	<p>昨年のこの全国会議でも小学生登録について複数意見があり、またその他各所でも意見や質問があった。小学生の登録を進めるべきだという声が多くでている。 資料14で小学生登録に関する調査結果を共有。事前に寄せられた質問についての回答を行う。 陸連では現在登録制度の再構築を行っており、小学生および指導者の登録については2023年度からの開始を目指し、検討している（内容詳細、登録料有無を含め今後の検討事項である）。</p>
<p>小学生登録</p>	<p>山本 浩</p>
	<p>球技や格闘技といった相対的な力で優劣が決するものと、陸上競技は次元の違うスポーツ。それはいわば自分をとことんまで突き詰める絶対的な競技。その魅力は記録という武器を持つところにある。「小学生から記録をとってよいのか」と聞かれることがある。記録そのものは個人の財産。個人に返すことが大事。むやみに公開し、不要な競争の材料にするのは避けたい。使い方を誤ると、記録のために子どもたちを追い込んでしまう状況を作りかねないからだ。記録を取るときの品質も大切。しっかりとらないと子どもたちの財産にならない。こういったことも考えながら登録について検討したい。</p>
<p>5. 来年度実施希望調査 その他連絡 [資料15]</p>	<p>陸連/田中悠士郎</p>
	<p>今年度実施した中高の登録校の指導者を対象として行ったアンケート調査(指導者バックグラウンド調査)から、指導者のスポーツ競技歴についての調査項目において、陸上競技経験者がどの程度いるのか(中学時代に経験：52%、高校時代に経験：68%、大学時代に経験：54%)が分かった。また、資格保有率については14%程度であり、自身の研鑽として研修に参加した人は41%だった。今後、他のカテゴリーについても調査を実施し、今後の指導者養成の参考にしていきたいと考えている。</p> <p>来年度実施希望調査（公認コーチ受講者推薦とジュニアコーチ開催希望調査）について 資料15を確認の上、2月10日（水）までに回答（全都道府県様とも）願いたい。 指導者講習会兼みんな集まれ!!陸上運動については2月中旬までに、全国指導者養成担当者研修会については詳細が決まり次第、改めて陸連からお知らせする。 小学生の登録関連、学校や地域クラブの活動の様子など、今後またアンケート調査等の実施を予定している。その際には、都道府県陸協宛てに依頼するのでご協力願いたい。</p> <p>※全ての事業に関して、新型コロナウイルス感染症及び社会状況により要項通りに開催できない場合があることをご了承ください。また、開催を予定するものに関しては、社会状況を確認しながら、都度、関係の皆様と協議・確認を行いたく、ご理解・ご協力を願います。</p>
<p>6. 質疑応答・その他</p>	
	<p>配布資料の資料16以降には、過去の事業開催状況、昨年度の全国会議での出席者グループディスカッションのまとめ、安全に活動するために指導者に再確認を依頼したいこと（事故を防ぐ3つのポイント）を入れてあります。参考にした上でご活用いただきたい。 会議中に聞けなかった意見や質問は、追ってお寄せください。 質問や意見（事前に寄せられたもの、会議中「チャット」に書き込まれたもの、会議後に提出されるもの）についての回答は、本日記布している資料の更新版とあわせ、後日（1月末までに）共有、また日本陸連HPに掲載予定。</p>

7. 都道府県陸協における指導者養成	桜井智野風
	<p>陸協のメンバー同士で情報交換、意見交換を求めたいところだが、今回は幾つかの都道府県から、各陸協での普及や指導者養成の取り組み、コロナ禍での活動について話を聞いた。</p> <p>かけっこクラブからその後の陸上継続（長く）への道をつくっている東京/一瀬秀和さん、普及事業と指導者養成の両立した取り組みをしている大分/櫻井貢さん、部活動を盛んに行なっている沖縄/小賦肇さん、毎年ジュニアコーチその他事業を多く開催する鹿児島/太田敬介さん、大学（大学生）を取り込みジュニアコーチを開催している三重/山口泰弘さん、そして北海道/山村修さんから、発言があった。</p>
	<p>【東京/一瀬】コロナ禍で、東京ということもあり、活動の再開は厳しいものがあつた。</p> <p>夏近くまで施設は使えない状況が続き厳しい状況だった。</p> <p>クラブでは、オンラインを使って、動画を見てもらって、コーチを使ってワンポイントレッスンを2ヶ月くらい配信した。</p> <p>活動においては、グーグルフォームを活用してアンケートを実施し、少しずつ再開した。活動を再開してからも、体温チェックを今でもやっている。体温が高い場合は参加を見合わせている。距離をとりながらというのはなかなか難しいので、指導を分散するなど工夫している。</p> <p>大学生コーチにも活躍してもらって、最近やっと集合での練習を再開できた。学生も、資格をとろうかという動きになっている。</p> <p>先々競技を続けていってほしい、今後また陸上を楽しんでほしい。という考えの元でやっている。</p>
	<p>【大分/櫻井】小学生クラブは県内に40ほどある。各クラブで必ず1人は指導者（資格者）を所属させようという考えである。</p> <p>指導者間のネットワークをはかろうということで、2009年から組織を立ち上げた。</p> <p>特に女性の指導者数について留意している。</p>
	<p>【沖縄/小賦】島国のため、周囲の都道府県と連携がとりづらい。</p> <p>小学生登録が盛んである。小学生のクラブチームは50ほど（チーム立ち上げも多く）あり、沖縄県自体も盛り上がっているため、明るく良い傾向である。</p> <p>中学は陸上部がない学校があり、子ども達が陸上から離れてしまう懸念がある。夏の中体連の大会に学校全員で出場するような考え方をしている。</p> <p>指導者資格をもっていない人たち（にわか指導者）が、正しくない知識で指導を行うような状況もある。</p> <p>沖縄から色々と発信できるように工夫していきたい。</p>
	<p>【鹿児島/太田】指導者のマニュアルや、指導者に必要な資質などをまとめ、発信している。</p> <p>年3回ほどの指導者向け講習会を開催。</p> <p>“グループウェア”（情報共有のためのシステムソフトウェア）を使用して指導者間で情報共有ができるようにしている。</p>
	<p>【三重/山口】クラブは60チームほど。例年小学生クラブチームを対象に研修会を行なっている。</p> <p>発達段階に合わせた指導法について最新の知識を得てもらえる内容としている。</p> <p>大学生には補助金も出して出来るだけ資格取得してもらおうよう努力しているので、配慮してほしい。</p>
	<p>【北海道/山村】順調に指導者は育っている。</p> <p>コロナで目標がなくなってしまう（大会がないから）、クラブや運動をやめて文化系にいくということも増えているようだ。</p> <p>小学生の指導も含めて弱腰になっている。大会は半分になっている。陸連の指導によりアルコール消毒など経費もかかる。早くコロナが終息してほしい。</p> <p>小学生の全国大会については開催可否を早めに知らせてほしい。</p>

## 8. おわりに

山本 浩

沢山の意見を有難うございました。今後もメールその他で意見を言っていただきたい。指導者養成委員会は上意下達の組織ではない。現場の皆さんのアイデアや苦勞が集まって形を成します。強化とは違うベクトル。皆さんの苦勞や喜びは我々の苦勞・喜びであり、子ども達や家族の成長、喜びとなるよう実現していきたい。

登録制度を始め、100点は得られない施策が沢山ある中、皆さんの知恵を頂戴し時代の中での変化に対応しながら、皆さんに認められるも最良に向かって恐れずに進みたい。皆さんの強いご意見、深い経験をこの組織の中で活かしていただきたい。

本日は有難うございました。

## 2020年度 全国普及育成・指導者養成担当者会議

## &lt; 質問・意見・回答 &gt;

日本陸上競技連盟 指導者養成委員会

指導者養成について	
Q-1	
	指導者養成担当者について。 本県は普及育成部として陸上の普及と指導者養成の両方を行っている。日本陸連は指導者養成委員会となったが、各都道府県陸協の組織は仕事内容さえあればそのままでよいか。
A-1	
	日本陸連では指導者養成委員会が「指導者養成」と「普及」を担当しています。都道府県陸協での組織編成は問いません。指導者養成と普及、それぞれの担当者（一人が両方を担当する場合もある）を選出してください。
Q-2	
	スタートコーチについて進捗を知らせてほしい。
A-2	
	2022年度からの導入を目指しています。スタートコーチは都道府県陸協と一緒に養成していくことになるので、今後も皆様からの意見を聞き、JSPOと協議を重ね、準備を進めます。
Q-3	
	スタートコーチを取得した後、ジュニアコーチの取得は別途必要か。
A-3	
	スタートコーチを取得した人もジュニアコーチの資格取得を推奨します。なお、ジュニアコーチ取得の際にスタートコーチ資格の有無は問いません。 スタートコーチは、コーチ1、コーチ3と同様に日本スポーツ協会（JSPO）公認スポーツ指導者資格であり、指導者の入り口として位置付け、基本的かつ初歩的な学習を行います。JSPOにおいてもそれぞれの資格ごとに必要な学習を経て資格取得となるようカリキュラムが設定されています。 JSPO共通科目においてスタートコーチ（共通スタート）からコーチ1（共通1）への免除は無く、共通1以降の免除は各要項で示す通り。専門科目（陸上競技）については上位資格取得に進むにつれ内容が同心円状に拡大していく学習と認識してください。 講習会カリキュラム、その他詳細については、スタートコーチ（新規）、ジュニアコーチ（改訂）ともに検討中です。
Q-4	
	ジュニアコーチについて 本県では公認ジュニアコーチの大学生の受講について、近隣の大学と話し合い、会場を借用する形で開催してきた。学生の受講料が5000円値上がりになるが、指導者を増やす活動として学生の料金は据え置きにならないか。大学生の力に頼らざるを得ない郡市陸協も多く、受講料の値上げはないよう要望する。
A-4	
	大学生（20歳以上）の指導者資格取得の推進、各都道府県で大学と連携した講習会の開催は非常に重要で大きな意味があることと心得ており、現場各位の尽力に深く感謝します。免除適用コース承認校在校生の受講料はこれまで他の共通科目免除者（15000円）より更に5000円の減額でした。しかるに専門科目として受講される講習内容、受講者の状況、講習会や各種申請にかかる費用等は、共通科目免除者と変わるところがありません。そこで生じた差額は、陸上競技関係者全体の負担となるが、一般共通科目免除者との公平感、更に受益者負担の原則に照らせば5000円減額の解消をお願いせざるを得ず、今回の判断に至りました。また、日本スポーツ協会を含め他の競技団体で資格制度に学生価格を導入している事例は極めて稀だという指摘があった点も理解していただきたい。今後、指導者養成指針に沿ってこれまで以上に会場を増やすことを考慮すると、現状の減額を続ければ開催地補助金や会場費補助金にも影響する心配が生じます。誠に心苦しい中での今回の改定にご理解願いたい。

<b>Q-5</b>	
	ジュニアコーチ養成講習会を4年間（または複数年）で取得できるよう検討してほしい。
<b>A-5</b>	
	<p>現在、ジュニアコーチ（陸上競技コーチ1）講習会は、共通科目と専門科目を同時に受講・終了できる形です。共通科目と専門科目を分けて受講する形であれば複数年にまたがって資格を取得することは可能ですが、その場合には、共通科目ⅠとしてNHK学園(通信教育)のコーチングアシスタントを受講し、本連盟が行う専門講習会(ジュニアコーチ養成講習会)を別途受講することになります。共通科目・専門科目別々の受講は、受講者の時間的な負担、費用負担ともに大きくなるため、1回の講習会で修了できるよう、現状の方法をとっています。</p> <p>なお、2022年度以降のカリキュラム改定にむけて、指導者の皆様の受講しやすさを考慮し、講習会の日程、受講期間等を検討しています。</p>
<b>Q-6</b>	
	ジュニアコーチにおいて「1つの会場で全日程を受講すること」を緩和し、複数の会場に分けて受講できるよう検討
<b>A-6</b>	
	会場ごとに時間割が異なること、受講者の公平性(事前課題や筆記試験等があることから)を担保する等の観点から、現在の開催規模においてこの規定は変更し難いところです。特に時間割については、各陸協で会場や用具、講師を選定する都合上、自由度をもたせており、全会場統一となると開催陸協側の負担が大きくなり、要員や費用の不足等を来すことも予測されます。
<b>Q-7</b>	
	ジュニアコーチ講習会で教員免許更新としての受講申請は可能か。
<b>A-7</b>	
	<p>2021年度については、今後、各会場での開催が決定した後に文部科学省への申請を行います（現時点では未確定です）。なお、2020年度まで（実施は2019年度まで）の実績としては、全会場ともに教員免許更新として受講可能でした。</p> <p>なお、認定講習会として申請するためには、開催希望調査の提出期日までに詳細(開催日程・会場・担当者)をお知らせいただく必要があります。</p>
<b>Q-8</b>	
	日本スポーツ協会のスポーツリーダーが終了し、ジュニアコーチ養成はどのように変わるのか。
<b>A-8</b>	
	<p>日本スポーツ協会ではスポーツリーダーにかわる資格としてコーチングアシスタントの養成を行っています。これに準じて日本陸連における今後のジュニアコーチ養成講習会の内容を検討します。</p> <p>現在、コーチングアシスタント(共通科目Ⅰ)の養成はNHK学園による通信講座のみ。コーチングアシスタントは受講料(35,000円)の中にテキスト代や登録料(スポーツ協会に支払う4年分の代金と初期登録料)が含まれています。陸上競技コーチとして登録する際には登録料(4年分で4000円)が別途必要です。</p> <p>※現在スポーツリーダーをお持ちでコーチ1の資格を保有していない方については、コーチングアシスタントに移行申請することも可能です。詳細は日本スポーツ協会の指導者ページでご確認ください。</p> <p>※共通科目の免除について2020年度より変更となっています。これまでの大学等の免除適応コース承認校の卒業証明書等による申請はできませんのでご注意ください(免除申請は大学卒業時の申請のみ)。</p>
<b>Q-9</b>	
	コーチ3（公認コーチ）の各県の推薦者数を2名としてほしい。
<b>A-9</b>	
	<p>2020、2021年度は、オリンピック・パラリンピック開催（予定）の影響から、講習会の開催数、受講生の定員に制限が生じています（※2020年度は新型コロナウイルスの影響で実技等の集合講習ができず、それらは2021年度に実施予定）。</p> <p>2022年度より各県の推薦者数を2名（女性を含む場合は3名まで可）とするよう考えています。</p>

<b>Q-10</b>	
	コーチ4の役割、処遇はどのようになるのか。
<b>A-10</b>	
	コーチ4保有者はJAAF公認コーチ(コーチ3、4とも)に位置付けられています。今後、コーチ4の役割、さらに上位資格の設置について検討します。
<b>【意見・共有事項】</b>	
	<p><b>【意見】</b> 指導者資格保有者を広げるために、大きな競技会入場特典措置等、様々な特典を拡充するとモチベーションがあがるのではないかと。</p> <p><b>【陸連】</b> 検討に値する提案です。現状、有資格者に対して日本陸連主催競技会への入場特典措置等をとっています。その他についても協議をしています。まずは有資格者の方々へ最新の情報をお届けする機会を作ることを第一ステップとし、現在有資格者に優先的に発信しているコーチングクリニックの案内等、今後はそれらをより一層増やします。その他の特典については順次積極的に検討していきます。</p>
	<p><b>【意見】</b> 公認コーチ資格取得者の年1回のミーティングなどがあれば、情報交換ができ、コーチとしての自覚も湧くのではないかと。</p> <p><b>【陸連】</b> 貴重なご意見です。実現に向けて検討したいと思います。</p>

<b>普及事業（U10/U13/U16指導者講習会兼みんな集まれ!!陸上遊び/陸上運動/陸上の基本運動）について</b>	
<b>Q-11</b>	
	指導者講習会とみんな集まれ!!陸上遊びを同時に開催する意図が知りたい。
<b>A-11</b>	
	指導者の養成と陸上競技の普及は、車に例えるとタイヤの「両輪」です。子どもたちが陸上競技の楽しさを知る場面では（＝普及）指導者の及ぼす影響が極めて大きく、陸連は普及活動に加え、現場の指導者をはじめとする子どもたちに影響力のある皆様のアシストやサポートを大事にしています。そこで、子どもたちへの普及事業でもあるこの講習会を指導者にも直に見てもらい、陸連と指導者（陸協）との間で意見交換ができる場としたいと考え、同時開催とします。
<b>Q-12</b>	
	指導者講習会&みんな集まれ!!の会場は、原則、学校でなければならないのか？コロナ禍において、学校を借りて部外者が参加しての実施は容易でない。また、地方での開催では送迎を伴うため駐車場の問題もある（以前、学校で開催をして近隣住民、警察から指導を受けた）。課題をクリアするために、競技場での開催でも良いか。
<b>A-12</b>	
	学校（校庭）、陸上競技場、その他広場など、理論講習、実技講習等、全てのプログラムが安全に実施できる会場であれば、問題ありません。 競技場で実施する環境的なメリットは多くあります。一方で競技場で実施できない（確保できない）場合や器具が十分に揃っていないときの実施方法についての質問も受けており、この講習会では、陸協や学校・クラブにおいて、特別な施設や用器具を用いなくても実施できるスタイルを重要視しています。
<b>Q-13</b>	
	みんな集まれ!!、2020年度の要項では、終了後、各陸協で独自に講習会を開催することになっていたが、今年はなぜそれが無いのか。
<b>A-13</b>	
	2020年度はこの事業を子どもたちへの陸上普及という目的だけでなく指導者の講習の場としても活用してもらうため、当日に10名以上の指導者が参加・見学し、年度内に実践（各陸協独自で講習会を開催）の場を設ける旨、示しました。しかしこれが却って陸協に負担を強いることとなり、再検討を行い、新たな提案の形で指導者への講習の場を設けることとしました。

<b>小学生陸上について</b>	
<b>Q-14</b>	
	2021年度全国交流大会の開催日、会場、大会の方向性について、できる限り早く知らせてほしい。都道府県でも来年度の競技日程の調整に入っている。
<b>A-14</b>	
	2021年9月18日(土)、19日(日)、20日(月・祝)、神奈川県横浜市の日産スタジアムで開催予定です(※1月25日に確定しました)。選手団申込締切は8月13日(金)とします。ただし、8月14日または15日に選考会が終了する都道府県は8月16日(月)を締切とします。 その他大会に関する事項は、開催要項案(資料13)でご確認ください(※開催日程および会場の確定により開催要項案を更新し別途お送りします)。
<b>Q-15</b>	
	コロナ禍でも全国大会を行うのか。また、現在の日本中のコロナ禍の状況で、いつ頃に実施または中止の決定をするのか。全国交流大会が実施される場合には県選考会を実施するため、各市郡・各小学校への周知案内が必要となるため、知らせてほしい。
<b>A-15</b>	
	新型コロナウイルス感染症および社会の状況(政府や自治体の判断を含む)をみながら、全国交流大会の開催可否や内容を検討します。場合によっては今年度同様に中止や内容の変更等もあります。選手団および関係各所の安全を第一に考えて決定をします。 現時点で決定期日のお伝えは難しいことをご理解ください。なお、年度末(3月末)を目途に、その時点での状況やその後の予定等を連絡する予定です。
<b>Q-16</b>	
	全国交流大会の支援コーチの枠はあるか。
<b>A-16</b>	
	支援コーチは1都道府県につき4名以内とします(大会要項内、3.(1)に記載)。
<b>Q-17</b>	
	選手、コーチ、監督は2泊3日で参加することが必須か。
<b>A-17</b>	
	全ての都道府県選手団(選手、監督、コーチとも)に、2泊3日の日程で参加してください。 "日清食品カップ"全国小学生交流大会は、競技(競技会)だけでなく、選手の交流や普段できない体験、また、指導者の交流や研修を大会の重要な目的としており、3日目(競技会翌日)にフレンドシップパーティーの実施を計画しています。
<b>Q-18</b>	
	夏休み中に開催してほしい。9月末の全国大会は運動会と重なっている学校が多く、今年度は不参加を表明するクラブが目立った。
<b>A-18</b>	
	選手団の移動に都合が良いのは夏休み中であることや、9月には運動会をはじめ学校行事が計画されること等、状況は承知しています。2020、2021年はオリンピック・パラリンピックの開催予定もありますが、その後(2022年以降)に関しても、近年の"危険な暑さ"といわれる夏の猛暑傾向に鑑み、競技会の開催に適した時期を検討したいと考えています。

<b>Q-19</b>	コンバインド種目について、参加数が減少してきたため、解除を求める指導者も多い。100mとその他種目という方が児童にとって選択しやすいのではないか。これについて検討してほしい。
<b>A-19</b>	<p>小学生は陸上競技の基礎をつくる大切な時期であり、走・跳・投種目（できるだけ多くの種目）を行うことで、体力、運動スキルともにバランスのよい発達を促し、その後の陸上または他のスポーツでの成長に大きく役立ちます。小学生に、色々な種目に挑戦し、楽しんで取り組んでほしいという考えのもと、コンバインド種目を実施しています。</p> <p>なお、都道府県大会では、コンバインド以外にも（コンバインドと並行して）、個人種目や3種競技など様々な試みをしている地域もあります。各地、各陸協で、沢山の小学生が気軽に参加できる環境を作っていただくことを願います。</p>
<b>Q-20</b>	県大会は県陸協が主催でないと県の公認記録として取り扱われないか。小学生は公認記録扱いではないので、主催、主管が同じ下部組織（県小学生連合会）で開催しても良いか。
<b>A-20</b>	<p>公認記録の扱いに関して、公認競技会の主催者は公認競技会規定に定められており（※詳細は下記「陸上競技審判ハンドブック」をご参照ください）、必ずしも県陸協である必要はなく、加入団体にも主催権が移譲されています（ただし、県小学生連合会は、現状ですと加入団体としての登録は無いようです）。</p> <p><a href="https://www.jaaf.or.jp/pdf/about/rule/handbook/1903.pdf#page=3">https://www.jaaf.or.jp/pdf/about/rule/handbook/1903.pdf#page=3</a></p> <p>また、小学生の記録に関しては、現在日本陸連として公認記録扱いをしていないため、都道府県陸協でご判断ください。</p> <p>以上をご理解のうえ、「日清食品カップ」小学生交流大会（都道府県大会や最終選考会）については、県小学生連合会主催での開催も可能です。ただし、全国交流大会の選手団は都道府県陸協の代表選手として参加するため、県陸協との共催とするなど運動し、選考会の開催、選手団の決定、派遣等を行ってください。</p>
<b>【意見・共有事項】</b>	
	<p><b>【意見】</b> コロナ禍であれば全国小学生交流大会は残念ながら中止とすべき。コロナからの全国的回復は何年もかかることから、全国大会は中期的に中止とし、全国大会の意義を理解した上で、県大会、地区大会レベルの開催で十分だと思う。</p> <p>コロナ禍では、競技が出来る状況であっても、宿泊を考えると開催は不可能。スポンサーをはじめ関係各所の意向もあると思うが、県大会の全国開催でも充分。全県の記録を集計することで（通信大会）、子どもたちは全国での自分の順位を把握することも可能。これはこれまでの大会では出来なかったことで、全国大会が無くてもモチベーションダウンには繋がらない。クロカンリレーが指導者の過熱化する指導に警告を与える物であるなら、全国大会の実施も同様の過熱化指導に向かっていることは否めない。</p> <p><b>【陸連】</b> コロナ禍の危険度を十分にわきまえた上で、全国交流大会の開催可否を再検討します。競技だけでなく移動や宿泊を含めて慎重に考え、また国や行政、関係各所とも相談の上、判断をします。</p> <p>全国大会および都道府県大会の在り方について、ご意見を受けとめ、選手の育成を考えて、引き続き検討します。</p> <p>なお、クロカンについては長距離練習となり、ジュニア期に継続的に行うことで心身の負担が多くなることが懸念されます。全国交流大会は、走る、跳ぶ、投げるの種目ですから、同じ全国大会でも考え方が異なります。選手・指導者の交流や研修の場という意味合いも強く、子どもたちに「楽しい陸上競技」を伝えられる大会にしたいと考えています。</p>
	<p><b>【意見】</b> 今年のようになることも想定し、各県での全国大会の開催を充実させるような代案も是非検討してほしい。</p> <p><b>【陸連】</b> 今年と同様な状況も想定した開催案についても、それがより良いものとなるよう、検討します。</p>



	<p>【意見】各都道府県大会で行う場合は、記録ランキングで競う形式にすればよい。</p> <p>【陸連】ランキングは、選手の励み、モチベーションになり得ます。一方で、小学生の時期には、気軽に陸上競技を行い楽しく自分の記録に挑戦できるよう、また、発育発達の個人差を考慮し、子どもたちの負担が大きくなり過ぎることを避けるべきであると考えます。また、身近な大会や地域の大会に出場したり、記録に対する興味や喜び、楽しさ等を提供することも大事であり、皆様の協力が不可欠です。楽しく身体を動かすことと競い合うこととのバランスを考え検討します。</p>
--	---

<b>小学生登録制度について</b>	
<b>Q-21</b>	
	昨年度会議の際、登録については来年度（今回）の会議で方向性を示すとのことであった。来年または再来年には方向性が出るのか。
<b>A-21</b>	
	小学生登録については2023年度の開始を目指して現在内容を検討しています。来年度（2021年度）中には陸連の方針等を提示する予定です。
<b>Q-22</b>	
	登録制は日本陸連の方針が決まるまで動かない方が良いか（日本陸連としての登録制に対する発表を待って各県での登録制を進めれば良いか）。
<b>A-22</b>	
	都道府県陸協ごとに小学生の登録について検討、実施されることは問題ありません。ただしご察しの通り、日本陸連の登録開始により陸協内で調整や変更等が必要になる可能性があります。2023年度の登録開始を目指し、2021年度中には陸連の方針等を提示する予定ですので、陸連からの情報や進捗を随時確認の上、陸協内で検討願います。
<b>Q-23</b>	
	陸連は今後小学生登録を義務化していくのか。
<b>A-23</b>	
	登録制度が小学生に陸上競技の魅力を伝える一つ的手段となるよう、登録方法や内容について検討を行います。登録によって陸上を行う子どもたちが減少したり、機会を失ったり、気軽に大会に参加することができなくなるのではないかと現場の皆様からの懸念に配慮し、検討します。
<b>Q-24</b>	
	指導者登録にあたり、ライセンス「ジュニアコーチ(コーチ1)」は必要か。ライセンスがないとジュニアのチームを持つことも指導もできない（ライセンスがない場合は安全管理上など法的に抵触することを想定している）ということになるのか。
<b>A-24</b>	
	日本陸連の指導者登録については現在検討中です。指導者養成指針に示した通り、将来的には全ての指導者が資格を持って指導にあたるよう、資格制度、登録制度ともに検討します。
<b>【意見・共有事項】</b>	
	<p>【意見】登録費の徴収を小学生まで広げないでほしい。</p> <p>【陸連】登録費の有無を含み、内容について慎重に検討します。必ずしも登録制度の導入＝登録費の徴収ではありません。</p>

	<p>【意見】小学生の登録制度の目的を明確にしてほしい。登録制度によりランキングが明確となり、さらに過激な練習によってケガを助長するなど、子どもたちの成長の妨げになるのではないかと危惧している。日本陸連の財政的な問題で小学生にも登録制度を導入し登録料を徴収することは避けてほしい。</p> <p>【陸連】本会議でも話した通り、「記録」は陸上競技の大きな魅力であり、個人の財産です。特に小学生においては、他者との競争（ランキング）の材料にするのではなく、励みとして、また将来に繋がる財産として個人に返すことが大事です。小学生登録（登録制度）においては、安易な比較対象のツールとならないよう、個人の記録公開をしないなど、管理の品質も含め検討します。登録料の有無に関しては皆様のご意見も参考に検討します。</p>
	<p>【意見】登録制度は小学校から（学校単位で）大会に出場する場合には適さない。クラブだけではないことも考えてほしい。</p> <p>【陸連】現場の皆様の声をできるだけ多く聞いて、検討します。</p>
	<p>【意見】小学生対象のジュニアクラブが充実していない愛媛県では、個人参加（保護者が代表となる）が増えている。登録制にすると参加へのハードルが上がり、記録に挑戦してみたいと思ってもすぐに参加できないため、必ずしも普及には繋がらない。</p> <p>【陸連】現場の皆様の声をできるだけ多く聞いて、検討します。</p>
	<p>【意見・共有】小学生の登録について否定的な意見もあったが、徳島県では、登録した上で、陸協公認審判の元で大会に参加し、他郡市のチーム選手と競り合いながら、県独自の小学県記録・自己記録更新を目指すという運営方法を実施してきたので特に異論はありません。本県では登録せずに県公認大会に参加することはできないが、未登録選手（子どもから大人まで）だけが参加できる非公認大会を開催することで、多くの人が陸上運動に関心を持てるよう、裾野を広げることができるよう、進めている。親子陸上大会や50mダッシュ大会などこれからも未登録選手のための大会を企画していく予定。</p> <p>【陸連】裾野を広げることが目的とした非公認大会の開催など、陸連および他の陸協でも参考になる事例であると思えます。</p>
	<p>【共有】岐阜県の小学生登録は、1年生から6年生まで行っている。</p>
	<p>【共有】宮崎県は、1クラブ5000円、個人登録料は0（無し）で、20年以上運用している。</p>
	<p>【共有】青森県の今年の小学生登録人数は1082名。今年はコロナの影響で少し少なかったが、通常であっても少子化の影響により減少傾向にある。ただし、登録制を始めても小学生の大会出場人数に影響は出ていない。</p>
	<p>【共有】静岡県のクラブチーム数は77チーム、ナンバー登録数は、1~6年生、全3124名（男1773、女1351）。静岡はこの登録により県レベルの大会に出場可としている。中には、同じナンバーを地方の市町大会でも使うケースもある。ナンバーの割り振りのみなので登録料は無料。ナンバーカードは各チームで作成する。実際には大会出場をせずここに登録していない子ども（練習参加のみ）もいる。</p>
	<p>【共有】宮崎県は登録の際に有資格者を記載する。また、公認審判員を必須としており、大会の際は随伴審判員を条件としている。</p>

## その他

### 【意見・共有事項】

	<p>【意見】感染症対策のこともあり、事業の計画・実施に不安が大きい。コロナ禍での安全な練習や競技会の取り組み方を取り上げ、共有してほしい。</p> <p>【陸連】感染症対策を講じた上での競技会その他事業の実施には大変な苦労があることと思います。日本陸連のガイドランスを参考にされ、加えて地域や都道府県の間での情報共有や意見交換等の場、また、陸連として皆様の意見や要望に応えられるよう、努めます。</p>
--	--

	<p>【意見】教員の働き方改革の流れを利用して、陸連独自の地域クラブ育成支援策を講じてはどうか。小学生年代のタレント発掘、指導者の掘り起こしにもつながると思う。</p> <p>【陸連】貴重な意見です。教員の働き方改革、それに伴う学校部活動改革や地域スポーツクラブの動きなど、国（スポーツ庁）の方向性確認と同時に、現場の状況、地域によって異なる状況等を把握して、陸連としての支援策を考えていきたいと思います。</p>
	<p>【意見】リモート会議であれば、年1回ではなく複数回の会議を開催してほしい。また、全国小学生交流大会前の会議開催もあると良い。</p> <p>【陸連】前向きに検討します。なお、現在陸連では月1回程度、加盟団体とのインフォメーションセッションを実施しています。インフォメーションセッションでは毎回異なるテーマを取り上げて、情報共有や意見交換を行っています。</p>
	<p>【意見】リモート（Zoom）での会議は初めてだったため心配があったが、話も、出席者の顔もわかり、大変良かった。全ての指導者がコーチ資格をもつことに賛成。兵庫県の場合、指導者が受けてきた数十年前の指導法で記録が伸びる子もいるが、その後中学等で伸び悩んでしまう子もたくさんいる。アスリートセンターの理念、コーチング理論、質の高い指導法、健全性など課題がある。</p> <p>【陸連】コーチ資格に関する賛同はありがたく、全ての陸協の皆様を理解・賛同いただけるよう、引き続き意見交換等を行っていきたくと考えます。</p>
	<p>【意見】各地域でのコロナ禍の対応による苦勞した点、今後の課題など多くの情報を得られ、充実した会議だった。オンライン会議で行うことで時間的な制約も緩和され、今後のあり方へも繋がる会議であったと思う。オンラインで行う場合、その運営(オペレーション)は大変苦勞されたことと思ひ、裏方で運営等を行なっていたいただいた事務局の方々へ感謝申し上げます。</p> <p>今後に向けて、普及、指導者養成について、もう少しポイントを絞って議論できるよう、検討していただきたい。幅が広すぎてぼやけてしまったり長時間化するなどの弊害もあるのではないかと。</p> <p>また、この会議を通じて改めて感じた点は、マンパワー、そして皆さんの熱意と善意によって成り立っているということ。今後、未来に向けて各陸協の事務局体制の充実が急務であり、選手が安心して競技に取り組める環境づくりのために、指導者養成、普及活動の根底を支える事務局体制を(みなさんの善意に頼ることなく、安定したものになるよう)、陸連としてさらに強化していただきたい。その他の課題も多く大変だと思うが、地域でも協力しますのでどうぞよろしくをお願いします。</p> <p>【陸連】ポイントを絞った議論、またそうした議論ができるよう皆様に提示・提案することに留意します。その他会議に関するご意見、また、各団体事務局体制の件など、是非皆様と一緒に整えていきたいと思ひます。</p>
	<p>【意見】日本陸連が、各県への指針として、高齢化する審判不足対策と小学生普及を柱とし、更に明確に打ち出すべきである。各県の足並を揃えることが、日本陸上の将来の道標となる。</p> <p>【陸連】審判不足や高齢化への対策、また、少子化社会の中での小学生普及（様々なスポーツ競技間での選手の取り合いではなく共に育てるということ）は非常に大事な事項です。日本陸連が指標を示し、都道府県陸協をはじめ各団体と足並みを揃えて取り組めるよう、考えていきたいと思ひます。</p>
	<p>【意見】仕事の都合上、可能であれば会議は土日にしてほしい。</p> <p>【陸連】平日仕事をされている方がおられるのをわきまえた上で、たくさんの声を聞いて検討します。それでも平日とせざるを得ない場合は、代替手段を議論してみます。</p>
	<p>【意見】オリンピックを契機に陸上競技の魅力をもっと広めたい。新国立競技場にサブグラウンドができなかったことは非常に残念。</p> <p>【陸連】オリンピック・パラリンピックを契機として、是非、陸上競技の魅力を多くの人に伝え、広めていけるよう、一致団結、取り組んでいきましょう。</p>

以上  
2021年1月末日